

(様式第9)

九大院医医第98号  
平成19年10月3日

厚生労働大臣 殿

九州大学病院長  
水田 祥

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告致します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	310 人
--------	-------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	523人	0人	523人	看護業務補助	22人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	174人	0人	174人	理学療法士	9人	臨床検査技師	81人
薬剤師	56人	0人	56人	作業療法士	4人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	32人	0人	32人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1047人	8人	1053人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	3人	0人	3人	栄養士	0人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	15人	0人	15人	歯科技工士	5人	事務職員	227人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	62人	その他の職員	44人

※ 非常勤欄は非常勤の単純人数

※ 合計欄は非常勤を常勤換算した人数と常勤の人数の合計(小数点第2位を切り捨て)

- 8. 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,032.8 人	31.7 人	1,064.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,772.9 人	585.6 人	2,358.6 人
1日当たり平均調剤数		3,731.3 剤	

## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・Open MRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するYag Laserによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	1人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	12人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	2人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫、乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変非侵襲診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路-羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固定腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発癌性遺性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈に対する血管レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するYag-Laserによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抹消血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抹消血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合レーザー焼却術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	154人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	47人
・多発性硬化症	173人	・ウェゲナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	144人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	51人
・全身性エリテマトーデス	356人	・他系統萎縮症	25人
・スモン	8人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	54人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	113人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	56人	・原発性胆汁性肝硬変	91人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	182人	・重症急性膵炎	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	98人	・特発性大腿骨頭壊死症	167人
・結節性動脈周囲炎	16人	・混合性結合組織病	31人
・潰瘍性大腸炎	266人	・原発性免疫不全症候群	40人
・大動脈炎症候群	57人	・特発性間質性肺炎	13人
・ピュルガー病	40人	・網膜色素変性症	100人
・天疱瘡	22人	・プリオン病	
・脊髄小脳変性症	76人	・原発性肺高血圧症	14人
・クローン病	214人	・神経繊維腫症	22人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	20人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	167人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	6人
・アミロイドーシス	10人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	5人
・後縦韧带骨化症	50人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン舞踏病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週2回程度 月8回程度		
剖検の状況	剖検症例数	92 例	部検率 49.19 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
非血縁者間の同種血液幹細胞移植による悪性腫瘍の治癒率の向上に関する研究	原田実根	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	520	補委 がん研究助成金
病態モデルマウスを利用する血液悪性疾患の進展メカニズムの解明	原田実根	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	480	補委 文部科学省
抗がん剤耐性を誘導する細胞内シグナル伝達分子の同定と固形癌化学療法への応用	中野修治	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	150	補委 文部科学省
膜型TNF- $\alpha$ の機能解析と自己免疫疾患の病態解明ならびに治療への応用	堀内孝彦	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	220	補委 文部科学省
APRILおよびBAFFの機能解析と自己免疫疾患発症への関与の検討	塚本 浩	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	160	補委 文部科学省
原発性胆汁性肝硬変における胆管の抗原提示細胞や標的細胞としての役割の解明	下田慎治	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	170	補委 文部科学省
好中球造血におけるG-CSF受容体シグナルとC/EBP $\alpha$ とのクロストークの解明	亀崎健次郎	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科	170	補委 文部科学省
尿毒症性脳障害における酸化ストレスの関与とエリスロポエチンの脳保護に関する研究	鶴屋和彦	腎・高血圧・脳血管内科	170	補委 文部科学省科学研究費
下部消化管疾患におけるフォスホリパーゼA2の遺伝子解析	松本主之	消化管内科	90	補委 文部科学省科学研究費
炎症性腸疾患患者の各種治療前後における表面マーカーおよびケモカイン発現の検討	矢田親一朗	消化管内科	70	補委 文部科学省科学研究費
炎症性腸疾患におけるヘムオキシゲナーゼの抗炎症作用に関する検討	中道郁夫	消化管内科	190	補委 文部科学省科学研究費
厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」クローン病の薬物療法	飯田三雄	消化管内科	150	補委 厚生労働科学研究費
Wntシグナル抑制によるステロイド骨粗鬆症発症の分子機構の解明と発症予測法の開発	高柳涼一	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	360	補委 文部科学省科学研究費(基盤研究B)
高精細画像観察によるステロイドパルス療法の分子機構の解明と効果予測システムの構築	高柳涼一	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	200	補委 文部科学省科学研究費(萌芽研究)
性分化に及ぼす性ステロイド合成・作用系異常に関する基礎的、臨床的研究	柳瀬敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	1,660	補委 文部科学省科学技術研究費(特定領域研究)
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柳瀬敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	150	補委 厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服研究事業
男性ホルモンの低下に起因する老年病の治療戦略 とその機序に関する総合研究	柳瀬敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	100	補委 厚生労働科学研究費 長寿科学総合研究事業

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	柳瀬敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	60	①補委 厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服研究事業
造血障害の研究・教育交流拠点の形成とアジア血液学の創出	牟田耕一郎	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	770	①補委 日本学術振興会
慢性膵炎転帰調査における膵性糖尿病に関する検討(治療法の確立)	伊藤鉄英(分担研究者)	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	100	①補委 厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	中村和彦(分担研究者)	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	400	①補委 厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服研究事業
NASH(非アルコール性脂肪肝炎)の病態解明と治療法の確立	中牟田誠 遠城寺宗近 古藤和浩 井口登興志	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	220	①補委 日本学術振興会
NASH(非アルコール性脂肪肝炎)の病態解明と治療法の開発検討	遠城寺宗近 古藤和浩 加藤正樹	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	50	①補委 臨床研究奨励基金
非アルコール性脂肪肝炎に対する各種漢方製剤の効能評価	遠城寺宗近 古藤和浩 加藤正樹 樋口野日斗	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	50	①補委 (財)日本漢方医学研究所
視神経脊髄型多発性硬化症のIL-17産生性T細胞の認識自己抗原とその役割の究明	吉良潤一	神経内科	800	①補委 文部科学省科学研究費
筋萎縮性側索硬化症に対するG-CSF療法の開発	吉良潤一	神経内科	200	①補委 文部科学省科学研究費
アルツハイマー病における細胞内アミロイドβを標的とする治療薬開発	大八木保政	神経内科	220	①補委 文部科学省科学研究費
てんかん性放電抑制に対する頸部冷却治療—てんかん動物モデルでの検討	重藤寛史	神経内科	200	①補委 文部科学省科学研究費
視神経脊髄型多発性硬化症の疾患感受性遺伝子のワールドワイドな解析とその意義の検討	三野原元澄	神経内科	130	①補委 文部科学省科学研究費
視神経脊髄型多発性硬化症の病態解析—血管関連因子を中心に—	小副川学	神経内科	210	①補委 文部科学省科学研究費
免疫性神経疾患に関する調査研究	吉良潤一	神経内科	6,760	①補委 厚生労働省科学研究費
軸索傷害型ギラン・バレー症候群の抗神経毒素療法の開発に関する研究	吉良潤一	神経内科	1,500	①補委 厚生労働省科学研究費
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	吉良潤一	神経内科	100	①補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	吉良潤一	神経内科	55	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
アルツハイマー病の神経細胞死を抑制する薬剤の開発	大八木保政	神経内科	200	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック血圧制御システムの開発(基盤S)	砂川賢二	循環器内科	3,458	補委 日本学術振興会
迷走神経刺激による動脈硬化プラーク安定化の試み(萌芽)	砂川賢二	循環器内科	330	補委 日本学術振興会
ナノテクノロジーによる機能的・構造的生体代替デバイスの開発	砂川賢二	循環器内科	780	補委 厚生労働省
植え込み型突然死防止装置の開発	砂川賢二	循環器内科	350	補委 厚生労働省
シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築	砂川賢二	循環器内科	150	補委 科学技術振興機構
難燃性マグネシウムをプラットフォームとする世界初の生体完全吸収性ステントの開発(萌芽)	江頭健輔	循環器内科	330	補委 日本学術振興会
動脈硬化病変(再狭窄、不安定プラーク)に対する画期的血管内治療システムの創製- 壺長類モデル作製から臨床応用まで -	江頭健輔	循環器内科	2,869	補委 厚生労働省
動脈硬化病変(再狭窄、不安定プラーク)に対する画期的血管内治療システムの創製- 壺長類モデル作製から臨床応用まで -	江頭健輔	循環器内科	300	補委 財団法人医療機器センター
難燃性マグネシウムをプラットフォームとする世界初の生体完全吸収性遺伝子溶出ステントの開発	江頭健輔	循環器内科	150	補委 代謝異常治療研究基金
難燃性マグネシウムをプラットフォームとする世界初の生体完全吸収性遺伝子溶出ステントの開発	江頭健輔	循環器内科	200	補委 福田記念共同研究助成
高血圧における心血管中枢内Rac1を介した活性酸素産生の役割(基盤C)	廣岡良隆	循環器内科	150	補委 日本学術振興会
高血圧における老化促進因子としての脳内活性酸素をターゲットとした診断・治療法の開発	廣岡良隆	循環器内科	700	補委 厚生労働省
血管病変形成におけるアポトーシスの役割の解明とステント内再狭窄治療への応用(基盤C)	市来俊弘	循環器内科	220	補委 日本学術振興会
日本人急性冠動脈症候群における冠動脈形成術前スタチン投与の有効性に関する臨床疫学研究	戸高浩司	循環器内科	190	補委 日本学術振興会
遺伝情報を用いた虚血性心疾患における日本人特有のリスク層別化および治療戦略の開発	小池城司	循環器内科	180	補委 日本学術振興会

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
世界初のフリーラジカル二次元可視化技術を用いた動脈硬化の病変形成機序の解明	井手友美	循環器内科	130	補委	日本学術振興会
制限増殖型アデノウイルスを用いた悪性胸膜中皮腫の遺伝子治療	中西洋一	呼吸器科	320	補委	文部科学省科学研究費
サイトカインシグナル伝達因子を標的とした炎症性肺疾患に対する新規再生療法の探索	井上博雅	呼吸器科	590	補委	文部科学省科学研究費
増殖型ウイルスを用いた遺伝子治療ベクターの搬送システム	高山浩一	呼吸器科	220	補委	文部科学省科学研究費
喘息に対するウイルス関連因子2本鎖リボ核酸の病的意義の解明と新規治療法の探索	松元幸一郎	呼吸器科	230	補委	文部科学省科学研究費
EGFリガンドによる肺損傷・線維化修復に対する新たな治療法開発	濱田直樹	呼吸器科	170	補委	文部科学省科学研究費
肺癌の浸潤、血管新生におけるRho/ROCK系の果たす役割の検討	原田大志	呼吸器科	90	補委	文部科学省科学研究費
萌芽研究 胎盤発生におけるTSSC3蛋白機能の解析	和氣徳夫	産科婦人科	200	補委	日本学術振興会
基盤研究(S)細胞老化の分子機構解明及び老化を標的とした癌分子標的療法の解明	和氣徳夫	産科婦人科	1,720	補委	日本学術振興会
萌芽研究 子宮体癌発癌機構におけるRas/エストロゲン経路の果たす役割—癌幹細胞の観点から	加藤聖子	産科婦人科	200	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)RCAS1を標的とした婦人科悪性腫瘍に対する新しい分子標的治療の開発に関する研究	園田顕三	産科婦人科	250	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)子宮体癌のパクリタキセル耐性における微小管結合蛋白質Tauの関与についての研究	上岡陽亮	産科婦人科	80	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)卵巣癌腹膜播種に対するカルボニン遺伝子治療の分子機序解明と臨床応用に関する研究	小林裕明	産科婦人科	140	補委	日本学術振興会
基盤研究(B)子宮体癌の発癌機構の解明と治療法の開発	加藤聖子	産科婦人科	380	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)RCAS1を標的とした婦人科悪性腫瘍に対する新しい分子標的治療の開発に関する研究	園田顕三	産科婦人科	100	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)卵巣癌のパクリタキセル耐性機序に関わる候補遺伝子の同定と遺伝子治療への応用	小川伸二	産科婦人科	190	補委	日本学術振興会
基盤研究(C)ホルモン補充療法の大腸癌抑制作用におけるMPAシグナルの機構解明	野崎雅裕	産科婦人科	210	補委	日本学術振興会

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
若手研究(B)胎盤形成に関与し癌抑制機能を持つ、新規遺伝子NECC1の機能解析	浅野間和夫	産科婦人科	210	補委 文部科学省
若手研究(B)p21による活性酸素産生系と癌細胞死誘導能との関連の解析	井上貴史	産科婦人科	160	補委 文部科学省
進行卵巣がんの集学的治療に関する研究	小林裕明	産科婦人科	130	補委 厚生労働省研究委託費
siRNAライブラリーを用いた子宮内膜症バイオマーカーの探索と早期診断への応用	田中義弘	産科婦人科	100	補委 日本学術振興会
パクリタキセル投与時の過敏症発現に関する検討	矢幡秀昭	産科婦人科	60	補委 公益信託九州大学医学部産婦人科学産科学研究助成基金
新しいヒト化疾患モデルマウスを用いたナノ遺伝子修復治療法の開発	原 寿郎	小児科	170	補委 文部科学省科学研究費補助金萌芽研究
アジア地域における亜急性硬化性全脳炎の疾患感受性遺伝子の網羅的探索	楠原浩一	小児科	290	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
熱性けいれん病態関連分子の網羅的解析と関連解析による疾患感受性遺伝子の同定	吉良龍太郎	小児科	180	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
劇症型A群レンサ球菌感染症の発症メカニズムの解明	齋藤光正	小児科	120	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
造血幹細胞への遺伝子導入による遺伝性好中球減少・機能不全に対する遺伝子治療	井原健二	小児科	90	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
急性散在性脳脊髄炎における分子遺伝学的病態解析	鳥巢浩幸	小児科	100	補委 文部科学省科学研究費補助金若手研究C
Cancer stem cellを標的とした次世代乳癌治療法の開発	久保 真	第一外科	240	補委 日本学術振興会
融合能を有する小胞“Exosome”による細胞間伝達を利用した乳癌制御法の開発	黒木祥司	第一外科	90	補委 日本学術振興会
膵癌早期診断および治療法開発を目的とした新規メチレーションマーカーの同定	佐藤典宏	第一外科	1,280	補委 文部科学省
形態形成システム系制御に基づく膵癌治療法の開発および予防法への展開	山口幸二	第一外科	80	補委 日本学術振興会
胸腺腫瘍組織における形態形成シグナル系解析と重症筋無力症治療への応用	小島雅之	第一外科	120	補委 日本学術振興会
ホルモン補充療法の大腸癌抑制作用におけるMPAシグナルの機構解明	壬生隆一	第一外科	210	補委 日本学術振興会

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
高速マイクロダイセクションによる膵癌遺伝子診断とナノテクノロジーによる治療予測	水元一博	第一外科	70	補委 日本学術振興会
表面増強ラマン分光法による膵液解析—新しい膵癌診断機器の開発へ向けて	水元一博	第一外科	160	補委 日本学術振興会
膵癌早期診断及び分子標的治療のための候補遺伝子同定と膵液遺伝子診断	大内田研宙	第一外科	110	補委 日本学術振興会
発癌予防のための形態形成シグナル系抑制ペプチドワクチンの開発	中村雅史	第一外科	180	補委 文部科学省
Cancer stem cell 恒常性維持機構制御による次世代癌治療法の実用化	中村雅史	第一外科	1,040	補委 日本学術振興会
候補遺伝子アプローチによるIPMN感受性遺伝子のGENE-BASED相関検定	田中雅夫	第一外科	160	補委 文部科学省
ナノデバイスを利用したNK4によるテラーメイド膵癌遺伝子治療	田中雅夫	第一外科	1,120	補委 日本学術振興会
形態形成シグナル系のクロストークを利用した大腸癌治療法の開発	能城浩和	第一外科	270	補委 日本学術振興会
分子腫瘍工学手法による細胞小体“Exosome”を用いた次世代癌治療法の開発	片野光男	第一外科	510	補委 日本学術振興会
Exosomeを用いた「機能分子移植療法」の開発	片野光男	第一外科	60	補委 日本学術振興会
蛋白質導入法による膵腎移植での虚血再灌流障害軽減に関する基礎実験	北田秀久	第一外科	170	補委 日本学術振興会
生体肝移植後の肝細胞癌再発に対するDNAワクチン療法の開発	前原喜彦	第二外科	1,490	補委 文部科学省
非細胞肺癌組織における炎症反応の分析とその制御による抗腫瘍療法の開発	吉野一郎	第二外科	320	補委 文部科学省
共焦点型内視鏡による消化管病変の診断技術の確立	掛地吉弘	第二外科	310	補委 文部科学省
C型肝細胞癌悪性化に関わる膜脂質変換酵素DGK $\theta$ の研究	武富紹信	第二外科	330	補委 文部科学省
PTEN/ATK/P13Kシグナル経路の制御による消化器癌の新しい薬物治療の開発	沖 英次	第二外科	340	補委 文部科学省
消化器癌に対するMRI誘導音響化学療法の実用化	小西晃造	第二外科	385	補委 文部科学省

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
胆管細胞癌の転移・浸潤規定遺伝子の同定と機能解析	辻田英司	第二外科	210	補委 文部科学省
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	岩本幸英	整形外科	3,200	補委 厚生労働省科学研究費補助金がん臨床研究事業
自己組織由来幹細胞デリバリーシステムを応用した運動器再生医療の開発	岩本幸英	整形外科	150	補委 財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
脊柱靭帯骨化症の原因としてのメカニカルストレスの関与を究明する研究	前田 健	整形外科	120	補委 文部科学省科学研究費
ユーイング肉腫におけるp27蛋白分解促進機構の解析と分子標的治療への応用	田仲和宏	整形外科	170	補委 文部科学省科学研究費
自家軟骨細胞とβ-TCPを用いた骨軟骨複合組織の作成および変形性関節症の治療への応用	松田秀一	整形外科	70	補委 文部科学省科学研究費
ナノテクノロジーを用いた慢性炎症性疾患の治療法の開発	中島康晴	整形外科	70	補委 文部科学省科学研究費
脂質代謝異常および過凝固の観点からのステロイド性骨壊死の病態解析と予防法	山本卓明	整形外科	150	補委 文部科学省科学研究費
分子生物学的手法を用いた遺伝性骨系統疾患原因遺伝子の機能病態解析	光安廣倫	整形外科	100	補委 文部科学省科学研究費
骨膜の軟骨分化のメカニズムと、Gタンパクの関与	坂本昭夫	整形外科	110	補委 文部科学省科学研究費
脳血管攣縮におけるPAR-1の機能解析、および新規G蛋白質共役受容体の検索	佐々木富男	脳神経外科	2,873	補委 文部科学省科学研究費
脳腫瘍幹細胞におけmicroRNA発現とシグナル伝達異常	溝口昌弘	脳神経外科	936	補委 文部科学省科学研究費
一塩基多型を用いた10番染色体の解析-新規がん抑制遺伝子同定への試み-	溝口昌弘	脳神経外科	90	補委 文部科学省科学研究費
神経膠腫における活性酸素種生成酵素(NOX)の発現意義	庄野禎久	脳神経外科	260	補委 文部科学省科学研究費
脳神経外科手術におけるヒヤリ・ハット事例、事故事例、訴訟事例の分析による手術治療安全対策ガイドライン作成に関する研究	児玉南海雄	脳神経外科	30	補委 厚生労働省科学研究費
細胞周期調節因子p 27制御による心筋細胞増殖の試み:臨床応用に向けた基礎的研究	富永隆治	心臓外科	533	補委 科学研究費補助金(基盤研究B)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
薬剤誘導性免疫寛容系の基礎的展開と臨床への応用	富田幸裕	心臓外科	871	補委 科学研究費補助金(基盤研究B)
ナノ・ドラッグデリバリーシステムを用いた静脈グラフト不全に対する新しい治療戦略	塩瀬 明	心臓外科	195	補委 科学研究費補助金(基盤研究C)
24時間心保存におけるRho-Kinase inhibitorの心保護作用	江藤政尚	心臓外科	230	補委 科学研究費補助金(若手研究B)
先天性横隔膜ヘルニアの低形成肺に対する出生後の肺成長促進治療に関する研究	水田祥代	小児外科	300	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B
小腸移植におけるミニ移植を応用した大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口智章	小児外科	320	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B
小腸移植における血管茎付き胸腺移植による大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口智章	小児外科	170	補委 文部科学省科学研究費 萌芽研究
小児固形悪性腫瘍に対する新規ベクターを用いた樹状細胞免疫遺伝子治療開発	田尻達郎	小児外科	170	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究C
新生児・小児に対する画像誘導下精密手術支援システムの開発	家入里志	小児外科	130	補委 文部科学省科学研究費 若手研究
ミニ移植による免疫寛容誘導とキメリズム作成に関する研究	西本祐子	小児外科	160	補委 文部科学省科学研究費 若手研究
神経芽腫増殖におけるHedgehogシグナル伝達系の関与の解析	高橋由紀子	小児外科	140	補委 文部科学省科学研究費 若手研究
先天性横隔膜ヘルニアラットモデルにおける胎児麻酔の効果に関する研究	上杉 達	小児外科	110	補委 文部科学省科学研究費 若手研究
マイクロアレイを用いた神経芽腫発生・悪性度に関与する分子機序の解明	東 真弓	小児外科	160	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究C
炎症性サイトカインが消化管運動に与える影響に関する研究	秋吉潤子	小児外科	130	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究C
進行神経芽腫に対する標準治療確立および新規治療開発のための研究	田尻達郎	小児外科	100	補委 厚生労働省がん研究助成金「神経芽腫」研究班
難治性小児固形悪性腫瘍に対する新規ベクターを用いた免疫遺伝子治療の開発	竜田恭介	小児外科	40	補委 がんの子供を守る会 助成金
臍帯ヘルニアにおける微小染色体異常の検討	増本幸二	小児外科	40	補委 福岡県臨床研究奨励基金
新生児外科・小児外科領域における多次元医用画像を用いた画像誘導下低侵襲手術システムの開発	家入里志	小児外科	100	補委 医療介護教育研究財団助成金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
難治性小児固形悪性腫瘍に対する新規ペクターを用いた免疫遺伝子治療の開発	田尻達郎	小児外科	3,440	補委 文部科学省特別教育研究費
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	古江増隆	皮膚科	17,065	補委 厚生労働省
アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究	古江増隆	皮膚科	5,070	補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤誠二	泌尿器科	3,240	補委 厚生労働省科学研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究(若手医師・協力者活用に要する研究)	内藤誠二	泌尿器科	1,485	補委 厚生労働省科学研究費補助金
尿路性器癌における薬剤感受性規定分子の同定と臨床応用	内藤誠二	泌尿器科	270	補委 文部科学省科学研究費補助金
養育環境が生む精神疾患の発症脆弱性に関わるニューロン・ネットワークの機能解析	神庭重信	精神科神経科	10	補委 文部科学省科学研究費
幼年期の心理的ストレスが向精神薬の反応性に与える影響の薬理学的基礎の解明	黒木俊秀	精神科神経科	80	補委 文部科学省科学研究費
統合失調症・感情障害者の社会脳機能の解析	鬼塚俊明	精神科神経科	80	補委 文部科学省科学研究費
Functional MRI による社会不安障害の脳機能研究	中尾智博	精神科神経科	100	補委 文部科学省科学研究費
脳由来神経栄養因子による抑制性神経伝達の修飾;発達変化を規定する分子基盤の解明	溝口義人	精神科神経科	110	補委 文部科学省科学研究費
自殺関連うつ対策戦略研究	神庭重信	精神科神経科	20,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
双極性障害の神経生理・画像・分子遺伝学的研究	神庭重信	精神科神経科	700	補委 厚生労働省科学研究費補助金
育児機能低下と乳児虐待の評価パッケージの作成とそれを利用した助産師と保健師による母親への介入のための教育と普及	吉田敬子	精神科神経科	93	補委 厚生労働省科学研究費補助金
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究17指-5	神庭重信	精神科神経科	2,000	補委 精神・神経疾患研究委託費
児童思春期強迫性障害の遺伝子研究:多施設共同研究プロトコル案17指-2	神庭重信	精神科神経科	90	補委 精神・神経疾患研究委託費
統合失調症とその近縁疾患の概念と診断の見直し:薬物治療反応性からみた疾患概念18指-7	神庭重信	精神科神経科	45	補委 精神・神経疾患研究委託費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
気分障害の治療システム開発と検証に関する研究17指-5	黒木俊秀	精神科神経科	110	補委 精神・神経疾患研究委託費
強迫性障害および関連情動障害の治療効果判定における機能的脳画像技術の応用に関する研究 17公-2 17公-2	黒木俊秀	精神科神経科	120	補委 精神・神経疾患研究委託費
糖尿病網膜硝子体症の病態解析とその制御	畑 快右	眼科	170	補委 日本学術振興会
脈絡膜新生血管病における自然免疫細胞群の関与とその治療への応用	園田康平	眼科	440	補委 日本学術振興会
緑内障に対する神経栄養因子を用いた遺伝子治療の前臨床研究	池田康博	眼科	1,131	補委 日本学術振興会
日本人に適した遺伝性眼疾患の系統的な迅速ゲノム診断法の構築	吉田茂生	眼科	160	補委 日本学術振興会
新規眼科手術補助剤のあたらしい可能性の検討をその臨床応用	江内田 寛	眼科	140	補委 日本学術振興会
酵素を用いたケミカルビトレクトミーの基礎及び臨床研究	望月泰敬	眼科	120	補委 日本学術振興会
頭頸部腫瘍におけるSCC抗原の発現のメカニズムに関する研究	中島寅彦	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	300	補委 文部科学省研究費
中耳真珠腫におけるレチノイン酸誘導による細胞形態変化解析	白土秀樹	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	240	補委 文部科学省研究費
超高速ビデオ解析による内耳有毛細胞における運動制御機構の解明	松本 希	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	240	補委 文部科学省研究費
肺癌の定位的放射線療法における腫瘍VIABILITYの評価法の確立	坂井修二	放射線科	70	補委 科学研究費補助金
脳梗塞超急性期におけるMRIを使用した実用的脳循環代謝評価法の確立	三原 太	放射線科	70	補委 科学研究費補助金
フッ素18標識アミノ酸製剤による新しい悪性腫瘍診断法の開発	阿部光一郎	放射線科	120	補委 科学研究費補助金
PETを用いたエストロゲン受容体陽性腫瘍の治療個別化に関する研究	古賀博文	放射線科	110	補委 科学研究費補助金
MRIアーテリアル・スピン・ラベリング(ASL)法による実用的脳循環評価法の確立	野口智幸	放射線科	70	補委 科学研究費補助金
血管内皮細胞への放射線照射で誘導されるiNOSの悪性腫瘍治療における意義	平川雅和	放射線科	130	補委 科学研究費補助金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワークイメージング法の開発とその臨床応用	吉浦 敬	放射線科	90	補委 科学研究費補助金
手術手技に起因する術中心停止・その他の危機的合併症に関する全国実態調査	入田和男	麻酔科蘇生科	80	補委 文部科学省科学研究費
周術期医療に関する大規模データベースの構築とデータ解析	入田和男	麻酔科蘇生科	115	補委 文部科学省科学研究費
移植対象臓器血管に対する周術期薬物の直接作用に関する研究	赤田 隆	麻酔科蘇生科	170	補委 文部科学省科学研究費
人工心肺後の肺血管抵抗上昇に対する有効な薬剤とその分子メカニズムの解明	神田橋 忠	麻酔科蘇生科	170	補委 文部科学省科学研究費
非ヒト霊長類造血器腫瘍モデル作出と悪性腫瘍モデル作出に向けた基盤技術の開発	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	3,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金(創薬基盤研究事業)
腎癌に対する免疫遺伝子治療法強化を目的とした腫瘍プロテオミクス解析	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	330	補委 文部科学省科学研究費補助金(萌芽研究)
RNF43パルス樹状細胞と特異的活性化リンパ球を用いた強化養子免疫療法の開発	末廣陽子	先端分子・細胞治療科	389	補委 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C))
新規遺伝子治療ベクターの開発と悪性腫瘍モデルコモンマーモセットを用いた前臨床研究	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	5,000	補委 文部科学省科学研究費補助金(特定領域研究)
独自樹立小型霊長類コモンマーモセットES細胞を用いた効率的造血幹細胞増幅法の開発	谷 憲三朗	先端分子・細胞治療科	1,540	補委 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B))
TFAM過剰発現動物を用いたミトコンドリアDNA老化仮説の実証	康 東天	検査部	490	補委 文部科学省科学研究費
1細胞PCRを用いたミトコンドリアDNA分類による がん早期診断	康 東天	検査部	160	補委 文部科学省科学研究費
基盤研究(C) 肺腺癌の発生および進展機構の分子病理学的解析	古賀孝臣	病理部	260	補委 文部科学省科学研究費
萌芽研究 上皮性肉腫の細胞形態・予後における細胞膜糖蛋白Dysadherinの役割	恒吉正澄	病理部	100	補委 文部科学省科学研究費
骨軟部腫瘍に対する重粒子線治療	恒吉正澄	病理部	20	補委 重粒子線がん治療臨床研究班
基盤研究(C)(2)悪性骨軟部腫瘍の転移におけるケモカインレセプターおよび血管新生の関与	小田義直	病理部	180	補委 文部科学省科学研究費
若手研究(B)胃腸管間質腫瘍における血管新生と新しい分子標的治療への応用	山元英崇	病理部	160	補委 文部科学省科学研究費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	八尾隆史	病理部	90	補委 厚生労働省がん研究助成金
ヒト造血前駆細胞を標的とした新しい抗アレルギー療法の開発	岩崎浩己	遺伝子・細胞療法部	260	補委 文部科学省科学研究費
造血前駆細胞の分化・増殖制御による新しい抗アレルギー療法開発のための基礎的研究	岩崎浩己	遺伝子・細胞療法部	200	補委 武田科学振興財団
Notch-1陽性AML芽球分画の幹細胞活性および薬剤耐性に関する研究	岩崎浩己	遺伝子・細胞療法部	50	補委 日本白血病研究基金
造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関与する遺伝子の同定	赤司浩一	遺伝子・細胞療法部	1,320	補委 文部科学省科学研究費
骨髄系およびリンパ球系に由来する樹状細胞群の純化とその細胞生物学的解析	赤司浩一	遺伝子・細胞療法部	480	補委 文部科学省科学研究費
胃癌および大腸癌の脊髄・末梢血・リンパ節中における転移形成能を有する遊離癌細胞(Isolated Tumor Cell,ITC)の検出とその臨床応用	森 正樹	遺伝子・細胞療法部	140	補委 厚生労働省がん研究助成金
白血病幹細胞特異的抗原の同定	赤司浩一	遺伝子・細胞療法部	230	補委 受託研究キリンビール
樹状細胞・標的細胞からみたGVHD、GVL効果の病態生理に関する包括的解析	豊嶋崇徳	遺伝子・細胞療法部	430	補委 文部科学省科学研究費
マウスモデルの開発による慢性GVHDの病態生理の解明	豊嶋崇徳	遺伝子・細胞療法部	160	補委 文部科学省科学研究費
造血幹細胞移植後の同種免疫応答・寛容における中枢性・末梢性寛容制御機構の関与	豊嶋崇徳	遺伝子・細胞療法部	100	補委 先端医薬研究振興財団
頸動脈エコーからみた動脈硬化症の疫学的研究	林 純	総合診療部	250	補委 公益信託日本動脈硬化予防基金助成事務局
HIV感染者等保健福祉相談推進研究	林 純	総合診療部	85	補委 財団法人エイズ予防財団
21COE大規模コホートに基づく生活習慣病研究教育	高柳涼一	総合診療部	1,000	補委 平成18年度研究拠点形成補助金
新生児慢性肺疾患の重症度の早期診断に関する研究	曳野俊治	周産母子センター	234	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
早産児・極低出生体重児の出生時高サイトカイン血症が発達に及ぼす影響の検討	金城唯宗	周産母子センター	100	補委 文部科学省科学研究費補助金若手研究B

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
慢性活動性EBウイルス感染症の感染細胞特性と治療に関する研究	大賀正一	周産母子センター	260	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
ヒト化モデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	周産母子センター	689	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究B
基盤研究(C)好中球による酸化ストレスからみた妊娠高血圧症候群の病態形成過程	月森清巳	周産母子センター	180	補委 日本学術振興会
基盤研究(C)子宮内トポロジーからみた胎児由来芽能性細胞トロホプラストの血管内皮様分化調節機構	福嶋恒太郎	周産母子センター	190	補委 日本学術振興会
若手研究(B)胎児麻酔を用いた先天性横隔膜ヘルニアに対する治療戦略の確立	北條哲史	周産母子センター	100	補委 文部科学省
分娩拠点病院の創設と産科2次医療圏の設定による産科医師の集中化モデル事業	福嶋恒太郎	周産母子センター	400	補委 厚生労働省研究委託費
母体環境の変容が胎児中枢神経系機能発達に与える影響に関する検討	福嶋恒太郎	周産母子センター	200	補委 成育医療研究委託費
行動学を用いた水頭症胎児の娩出時期に関する研究	諸隈誠一	周産母子センター	80	補委 二分脊椎・水頭症研究振興財団研究助成金
21世紀ロボットチャレンジプログラム「リハビリ支援型ロボット及び実用化技術の開発」	岩本幸英	リハビリテーション部	3,102	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
脳機能および身体機能の活性化における「ゲーム機リハビリ」の有用性	高杉紳一郎	リハビリテーション部	100	補委 文部科学省科学研究費(萌芽研究)
炎症性腸疾患患者の各種治療前後における表面マーカーおよびケモカイン発現の検討	矢田親一朗	光学医療診療部	120	補委
「未来型医療を実現する小型ロボティクスシステムの研究開発」	橋爪 誠	先端医工学診療部	65,000	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構・民間基盤技術研究促進事業(NEDO)
「ロボット医学教育研究の戦略的拠点の形成」	橋爪 誠	先端医工学診療部	6,000	補委 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト Aタイプ
「術中MRI下腹腔鏡下手術システムの確立」	橋爪 誠	先端医工学診療部	6,325	補委 厚生労働省科学研究費補助金
「超低侵襲消化器癌治療を実現する内視鏡ロボットシステムの開発」	橋爪 誠	先端医工学診療部	3,640	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究A
「多次元医用画像誘導による内視鏡下手術支援システムの開発」	掛地吉弘	先端医工学診療部	1,480	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
「世界戦略的ロボット手術研究教育拠点作成のための教育モデルの確立」	川中博文	先端医工学診療部	1,480	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B
乳歯の再生医療への応用を開拓する発生および細胞工学的研究	野中和明	小児歯科	80	補委 文部科学省科学研究費
糖鎖シグナル機能解析による口唇裂口蓋裂ポストゲノム研究	野中和明	小児歯科	600	補委 文部科学省科学研究費
細胞外マトリックスによるエナメル質形成メカニズムの解明	福本 敏	小児歯科	890	補委 文部科学省科学研究費
エナメルマトリックスによる歯根吸収抑制メカニズムの解明とその制御	福本 敏	小児歯科	70	補委 文部科学省科学研究費
マルチボディシステムを用いた食品の「機能物性」	早崎治明	小児歯科	110	補委 文部科学省科学研究費
インシュリン感受性ホルモンの低下が糖尿病患者の歯周病に及ぼす影響に関する研究	山口 登	小児歯科	120	補委 文部科学省科学研究費
乳歯歯根吸収に関与する遺伝子の探索およびその制御機構の分子生物学的解析	長谷川智一	小児歯科	220	補委 文部科学省科学研究費
基底膜分子を用いたエナメル芽細胞分子化誘導法の開発	湯浅健司	小児歯科	120	補委 文部科学省科学研究費
規定膜分子ラミニンの歯の形態形成における役割の解析と組織工学的再生法の開発	湯浅真理	小児歯科	100	補委 文部科学省科学研究費
遠隔診断支援のための顎顔面の形態と機能の三次元可視化システムの構築	中島昭彦	矯正歯科	220	補委 文科省科学研究費
実験的歯の移動および末梢血流の動態に及ぼす静磁場の影響について	名方俊介	矯正歯科	50	補委 磁気健康科学研究振興財団助成金
矯正的歯の移動時の歯根吸収に対する全身的炎症疾患の影響	五百井秀樹	矯正歯科	280	補委 文科省科学研究費
MRI を用いた顎顔面形態と口腔機能の四次元解析システムの開発	寺嶋雅彦	矯正歯科	240	補委 文科省科学研究費
歯根膜再生の鍵を握る細胞とその必須の因子は何か？	赤峰昭文	歯内治療科	978	補委 文部科学省科学研究費
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明と再生	吉嶺嘉人	歯内治療科	1,483	補委 文部科学省科学研究費
ヒトマラッセ上皮遺残細胞による発現遺伝子の網羅的解析と不死化細胞の樹立	前田英史	歯内治療科	130	補委 文部科学省科学研究費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
湿潤環境下におけるセラミックス-レジンセメント間の接着耐久性	畦森雅子	歯内治療科	120	補委	文部科学省科学研究費
マラッセの遺残上皮の増殖機序と役割に関する研究	橋口 勇	歯内治療科	70	補委	文部科学省科学研究費
幹細胞を利用した新歯内治療法の確立	石河真幸	歯内治療科	130	補委	文部科学省科学研究費
熱媒体の人体影響とその治療等に関する研究	赤峰昭文	歯内治療科	100	補委	厚生労働省科学研究費
根尖性歯周炎により破壊された歯周組織の治癒のメカニズムの解明と再生医療への応用	阿南 壽	歯周病科	1,378	補委	文部科学省科学研究費
ドラッグデリバリーシステムを用いた新規骨再生法の開発とその細胞内メカニズムの解明	古谷野 潔	義歯補綴科	610	補委	文部科学省科学研究費
アジアおよび米国の補綴学会との共同国際研究集会に向けた企画調査	古谷野 潔	義歯補綴科	330	補委	文部科学省科学研究費
破骨細胞からみた多血小板血漿(PRP)の効果-歯槽骨吸収抑制の可能性	古谷野 潔	義歯補綴科	80	補委	文部科学省科学研究費
咬合の異常感覚症患者の客観的診断法の開発に関する研究	築山能大	義歯補綴科	150	補委	文部科学省科学研究費
紅麹エキスをを用いた新規骨形成法に関する研究	鮎川保則	義歯補綴科	170	補委	文部科学省科学研究費
インプラント周囲に発現する骨タンパクはオッセオインテグレーションを促進できるか?	藤野陽子	義歯補綴科	210	補委	文部科学省科学研究費
Functional MRIを用いた摂食機能の高次脳活動賦活化に関する研究	松山美和	義歯補綴科	70	補委	文部科学省科学研究費
ティッシュエンジニアリングを応用した審美的・機能的インプラント周囲組織の構築	熱田 生	義歯補綴科	160	補委	文部科学省科学研究費
インプラントおよび自家移植歯牙周囲の知覚再生と咬合負担による変化に関する研究	保志美砂子	義歯補綴科	180	補委	文部科学省科学研究費
ティッシュエンジニアリングの三要素を配慮した骨再生とその評価	荻野洋一郎	義歯補綴科	210	補委	文部科学省科学研究費
RNA干渉を用いた顎口腔領域の骨増生に関する基礎的研究	和田裕子	義歯補綴科	190	補委	文部科学省科学研究費
エナメル質の再生とその臨床応用	寺田善博	咬合補綴科	300	補委	文部科学省科学研究費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
抗腫瘍T細胞の活性化あるいは不活性化に関わる扁平上皮癌関連抗原の解析	中村誠司	顎口腔外科	310	補委 文部科学省科学研究費
エリス・ファン・クレフェルト症候群の原因遺伝子の解明	菊田るみこ	顎口腔外科	170	補委 文部科学省科学研究費
口腔扁平苔癬の発症および病態形成の分子機構におけるT細胞マイクロキメリズの関与	林田淳之將	顎口腔外科	110	補委 文部科学省科学研究費
コシヤペロンDnaj/HSP40による浸潤・転移機構の解明	森藤政代	顎口腔外科	140	補委 文部科学省科学研究費
Notchシグナル伝達系を介したエナメル上皮腫の分化制御機構の解明	川野真太郎	顎口腔外科	90	補委 文部科学省科学研究費
がん浸潤・転移分子を標的とした口腔癌転移抑制療法の開発	白砂兼光	顔面口腔外科	350	補委 補 文部科学省科学研究費委
おとり遺伝子を用いた純国産戦略による多剤耐性癌への抗癌剤治療法の応用	竹之下康治	顔面口腔外科	640	補委 補 文部科学省科学研究費委
おとり遺伝子を用いた純国産戦略による癌の血管新生抑制療法の開発	石橋浩晃	顔面口腔外科	480	補委 補 文部科学省科学研究費委
閉塞性耳下腺炎治療のための導管拡張用精密器具の開発に関する実験的研究	河津俊幸	口腔画像診断科	140	補委 日本学術振興会科学研究費
マラッセの上皮遺残はセメント質形成に関与しているか？	和田尚久	口腔総合診療科	220	補委 文部科学省科学研究費
粘性体や弾性体を用いた歯牙欠損補綴患者および顎関節症患者の硬さ識別能の評価	玉丸寛美	口腔総合診療科	250	補委 文部科学省科学研究費

計 262 件

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Blood108:382-389,2006	Myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for non-Hodgkin lymphoma: a nationwide survey in Japan.	Kim SW,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Gastroenterology 131: 606-618,2006	Autoreactive T-cell responses in primary biliary cirrhosis are proinflammatory whereas those of controls are regulatory.	Shimoda S,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Hepatology 43:729-737,2006	Liver-targeted and peripheral blood alterations of regulatory T cells in primary biliary cirrhosis.	Lan RY,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Transplantation82:840-843,2006	Adult T-cell leukemia development from a human T-cell leukemia virus type I carrier after a living-donor liver transplantation.	Kawano N,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
J Cell Biochem97:724-734,2006	Gefitinib, a selective EGFR tyrosine kinase inhibitor, induces apoptosis through activation of Bax in human gallbladder adenocarcinoma cells.	Ariyama H,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Lancet 368:1155-1163,2006	Primary prevention of cardiovascular disease with pravastatin in Japan (MEGA Study): a prospective randomized controlled trial.	Nakamura H,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Int J Mol Med17:875-879,2006	Increased expression of membrane TNF-alpha on activated peripheral CD8+ T cells in systemic lupus erythematosus.	Horiuchi T,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Kidney Int 70: 363-70, 2006	Persistent hyperparathyroidism in renal allograft recipients: Vitamin D receptor, calcium-sensing receptor and p21.	Masatomo Taniguchi	腎・高血圧・脳血管内科
腎臓29:118-125, 2006	過形成副甲状腺の退縮に関する検討	谷口正智	腎・高血圧・脳血管内科
Life Sci 79:757-763, 2006	Expression of synaptopodin and GLEPP1 as markers of steroid responsiveness in primary focal segmental glomerulosclerosis.	MakotoHirakawa	腎・高血圧・脳血管内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Ther Apher Dial 11:49-55, 2007	Midodrine hydrochloride and L-threo-3,4-dihydroxy-phenylserine preserve cerebral blood flow in hemodialysis patients with orthostatic hypotension.	KiichiroFujisaki	腎・高血圧・脳血管内科
Clin Nephrol 67: 53-57, 2007	Acute renal infarction in a patient with left atrial myxoma.	KiichiroFujisaki	腎・高血圧・脳血管内科
Clin Nephrol 66: 214-217, 2006	Candida glabrata fungemia in a diabetic patient with neurogenic bladder: successful treatment with micafungin.	NaokiHaruyama	腎・高血圧・脳血管内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Therapeutic effect of infliximab on colorectal adenoma in uncolectomized familial adenomatous polyposis	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Endoscopy	Probe EUS for the diagnosis of invasion depth in superficial esophageal cancer. A comparison between jelly-filled method and water-filled balloon method	Motohiro Esaki	消化管内科
Digestive Diseases and Sciences	Enteroscopic features of chronic nonspecific multiple ulcers of the small intestine. Comparison with NSAID-enteropathy	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Diseases of the Colon and Rectum	Impact of phospholipase A2 group IIa gene polymorphism on phenotypic features of patients with familial adenomatous polyposis	Ritsuko Fujisawa	消化管内科
Inflammatory Bowel Disease	Auto-fluorescence colonoscopy for the diagnosis of dysplasia in ulcerative colitis	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Mol Cell Biol. 26: 6633-6655	Nuclear compartmentalization of N-CoR and its interactions with steroid receptors.	Wu Y et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Biochem Biophys Res Commun. 341: 515-521	Opposite effects of alternative TZF spliced variants on androgen receptor	Tao RH et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Am. J. Hypertension (2006, 19: 1206-1212)	Evaluation of a new carotid intimal plus medial thickness (IMT) measurement by b-mode ultrasonography using an innovative measurement software, intimascope	Yanase T et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Eur J Haematol.	Pivotal role of Notch signaling in regulation of erythroid maturation and proliferation.	Tachikawa Y et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Liver Int 26: 385-387, 2006	RCAS1-expressing macrophages in inflammatory liver diseases	Enjoji M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Comp Hepatol 5: 10, 2006	Comparison of tissue pressure and ablation time between the LeVeen and cool-tip needle methods	Nakamuta M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
World J Gastroenterol 12: 6678-6682, 2006	Arterial steroid injection therapy can inhibit the progression of severe acute hepatic failure toward fulminant liver failure	Kotoh K, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int Med 45: 1133-1135, 2006	An adult case with Hunter's syndrome presenting prominent hepatic failure: light and electron microscopic features of the liver	Yoshimoto T, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
臨床病理 54: 126-131, 2006	尿中ジアセチルスペルミン上昇に関する要因: 良性肝疾患患者における考察 臨床病理 54: 126-131, 2006	遠城寺宗近 他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
医学のあゆみ別冊 NAFLDのすべて, 西原利治編 p59-64, 医歯薬出版	NAFLDにおける脂肪酸代謝医学のあゆみ別冊 NAFLDのすべて, 西原利治編 p59-64, 医歯薬出版	中牟田誠, 国府島庸之	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Neurology 67: 1236-1241, 2006	The contactin 4 gene locus at 3p26 is a candidate gene of SCA16.	Miura S, et al	神経内科
NeuroImage 31: 745-753, 2006	Functional network of the basal ganglia and cerebellar motor loops in vivo: different activation patterns between self-initiated and externally triggered movements.	Taniwaki T, et al	神経内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Neuropathol Exp Neurol 65: 816-825, 2006	Intrathecal upregulation of G-CSF and its neuroprotective actions on motor neurons in amyotrophic lateral sclerosis.	Tanaka M, et al	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 77: 1187-1190, 2006	Expression of granulysin in infiltrating cells in polymyositis and inclusion body myositis: its possible relationship to steroid resistance in polymyositis.	Ikezoe K, et al	神経内科
J Neuroimmunol 175: 52-58, 2006	CSF cytokine and chemokine profiles in acute disseminated encephalomyelitis.	Ishizu T, et al	神経内科
J Neuroimmunol 178: 156-160, 2006	Upregulation of myeloperoxidase in patients with opticospinal multiple sclerosis: positive correlation with disease severity.	Minohara M, et al	神経内科
Cardiovasc Res. 2007 Mar;73(4):794-805.	Soluble TNF receptors prevent apoptosis in infiltrating cells and promote ventricular rupture and remodeling after myocardial infarction.	Monden Y, Kubota T, Egashira K, Sunagawa K et al	循環器内科
J Hypertens. 2007 Feb;25(2):399-406.	Pressor response induced by central angiotensin II is mediated by activation of Rho/Rho-kinase pathway via AT1 receptors.	Sagara Y, Hirooka Y, Sunagawa K et al	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2007 Jan;29(1):13-21.	Long-acting calcium channel blocker, azelnidipine, increases endothelial nitric oxide synthase in the brain and inhibits sympathetic nerve activity.	Kimura Y, Hirooka Y, Sunagawa K et al	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol. 2006 Sep;48(3):95-102	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates exacerbated left ventricular remodeling and failure in diabetes-associated myocardial infarction.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Circ Res. 2006 Sep 9;99(7):767-75.	Sustained elevation of serum cortisol level causes sensitization of coronary vasoconstricting responses in pigs in vivo: a possible link between stress and coronary vasospasm.	Hizume T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertension. 2006 Oct;48(4):651-7.	Ovariectomy augments hypertension through rho-kinase activation in the brain stem in female spontaneously hypertensive rats.	Ito K, Hirooka Y, Kimura Y, Sagara Y, Sunagawa K.	循環器内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Cardiovasc Res. 2006 Oct 1;72(1):184-90.	Telmisartan downregulates angiotensin II type I receptor through activation of peroxisome proliferator-activated receptor gamma.	Imayama I, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006 Nov;291(5):H2237-45.	Overexpression of glutathione peroxidase attenuates myocardial remodeling and preserves diastolic function in diabetic heart.	Matsushima S, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2006 Sep;26(9):2049-55.	Thyroid hormone inhibits vascular remodeling through suppression of cAMP response element binding protein activity.	Fukuyama K, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertens Res. 2006 Jan;29(1):49-56.	Amlodipine-induced reduction of oxidative stress in the brain is associated with sympatho-inhibitory effects in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Hirooka Y, Kimura Y, Nozoe M, Sagara Y, Ito K, Sunagawa K.	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006 Sep;291(3):H1337-44.	Blockade of NF-kappaB improves cardiac function and survival after myocardial infarction.	Kawano S, Kubota T, Sunagawa K et al	循環器内科
Circulation. 2006 Apr ;113(14):1779-86.	Overexpression of mitochondrial peroxiredoxin-3 prevents left ventricular remodeling and failure after myocardial infarction in mice.	Matsushima S, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Cardiovasc Res. 2006 Jun 1;70(3):457-65.	Targeted deletion of p53 prevents cardiac rupture after myocardial infarction in mice.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertension. 2006 Apr;47(4):711-7.	Targeted deletion of matrix metalloproteinase 2 ameliorates myocardial remodeling in mice with chronic pressure overload.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Kindly International 2006 Jun;69(11): 1986-1995.	Blockade of VEGF accelerates proteinuria, via decrease in nephrin expression in rat crescentic glomerulonephritis.	Hara A, Wada T, Egashira K et al	循環器内科
Respiration. 2007 Mar 29	Different Profiles of IL-10+IFN-gamma-IL-4-CD4+ T Cells in the Peripheral Blood in Atopic and Non-Atopic Asthmatics.	松元幸一郎	呼吸器科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Med Sci Monit. 2007 Feb;13(2):RA19-24	The pathogenesis of COPD: lessons learned from in vivo animal models.	藤田昌樹	呼吸器科
Pulm Pharmacol Ther. 2006 Sep 14	Doxycycline attenuated lung injury by its biological effect apart from its antimicrobial function.	藤田昌樹	呼吸器科
Cancer Gene Ther. 2007 Jan;14(1):105-16	Vascular endothelial growth factor promoter-based conditionally replicative adenoviruses for pan-carcinoma application.	高山浩一	呼吸器科
Respiration. 2006 Sep 5	Effects of Salmeterol in Patients with Persistent Asthma Receiving Inhaled Corticosteroid plus Theophylline.	井上博雅	呼吸器科
Gynecologic Oncology	Clinical significance of RCAS1 as a biomarker of uterine cancer	Sonoda, K.	産科婦人科
Clin Cancer Res	Adenovirus-Mediated Calponin h1 Gene Therapy Directed against Peritoneal Disseminataion of Ovarian Cancer : Bifunctional Therapeutic Effects on Peritoneal Cell Layer and Cancer Cells	Ogura, T.	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Complete mole coexistent with a twin fetus	Ogura, T.	産科婦人科
J Pediatr. 2006 148:546-8	Delayed separation of the umbilical cord in two siblings with Interleukin-1 receptor-associated kinase 4 deficiency: rapid screening by flow cytometer.	Takada H, Hara T	小児科
Clin Exp Immunol. 2006;143(2):260-8	Novel roles of osteopontin and CXC chemokine ligand 7 in the defence against mycobacterial infection.	Khajooe V, Saito M, Hara T	小児科
Diabet Med. 23(10):1145-50, 2006	Phenotypic and genetic analyses of T-cell-mediated immunoregulation in patients with Type 1 diabetes.	Tsutsumi Y, Ihara K, Hara T	小児科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Pediatr Hematol Oncol. 28:355-361, 2006	Reduced gene expression of clustered ribosomal proteins in Diamond-Blackfan anemia patients without RPS19 gene mutations.	Koga Y, Matsuzaki A, Hara T	小児科
Pediatr Hematol Oncol, 23: 115-127, 2006	Identification of novel genes with prognostic value in childhood leukemia using cDNA microarray and quantitative RT-PCR.	Hattori H, Suminoe A, Hara T	小児科
Int J Immunogenet2007 Feb;34(1):35-44	Association of IL12RB1 polymorphisms with susceptibility to and severity of tuberculosis in Japanese:a gene-based association analysis of 21 candidate genes.	Kusuhara K, Hara T	小児科
J Biotechnol 121:299-308, 2006	A novel transfection method for mammalian cells using gas plasma.	Sakai Y, Kira R, Hara T	小児科
GUT55(7):991-999	Gli1, downregulated in colorectal cancers, inhibits proliferation of colon cancer cells involving Wnt signalling activation.	Akiyoshi T	第一外科
Cancer Genomics & Proteomics3:47-54	Rapid and Sensitive Assay of K-ras Mutations in Pancreatic Cancer by Electrochemical Detection with Ferrocenyl-naphthalene-diimide	Ishikawa N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 13(4):336-343	Type of gastrointestinal reconstruction affects postoperative recovery after pancreatic head resection	Kawamoto M	第一外科
Cancer Res. 66(14):7041- 7049	Nuclear factor- $\kappa$ B contributes to hedgehog signaling pathway activation through sonic hedgehog induction in pancreatic cancer.	Nakashima H	第一外科
CancerGene Ther.13:520- 529	Peritumoral injection of adenovirus vector expressing NK4 combined with gemcitabine treatment suppresses growth and metastasis of human pancreatic cancer cells implanted orthotopically in nude mice and prolongs survival	Ogura Y	第一外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Pathology 210:42-48	Sonic hedgehog is an early developmental marker of intraductal papillary mucinous neoplasms: clinical implications of mRNA levels in pancreatic juice	Ohuchida K	第一外科
Clin Cancer Res 12(18):5417-5422	S100A11, a putative tumor suppressor gene, is overexpressed in pancreatic carcinogenesis	Ohuchida K	第一外科
Int J Cancer. 118(2):405-411	Quantitative analysis of MUC1 and MUC5AC mRNA in pancreatic juice for preoperative diagnosis of pancreatic cancer	Ohuchida K	第一外科
Clin Cancer Res 12(7):2066-2069	Quantitative Analysis of Human Telomerase Reverse Transcriptase in Pancreatic Cancer	Ohuchida K	第一外科
Gastroenterology 130(2):548-565	Differential and epigenetic gene expression profiling identifies frequent disruption of the RELN pathway in pancreatic cancers	Sato N	第一外科
Cancer 107(2):251-257	Aberrant methylation of Reprimo correlates with genetic instability and predicts poor prognosis in pancreatic ductal adenocarcinoma	Sato N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13(4):280-285	Epigenetic alterations in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas	Sato N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13(4):286-295	The role of epigenetic alterations in pancreatic cancer	Sato N	第一外科
Endoscopy, 38:886-890, 2006.	Development and assessment of morphologic criteria for diagnosing gastric cancer using confocal endomicroscopy ex and in vivo study.	Takeji Y, et al.	第二外科
Ann Thorac Surg, 81:1189-1193, 2006.	Smoking status as a prognostic factor in patients with stage I pulmonary adenocarcinoma	Yoshino I., et al.	第二外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Am J Transpl., 6:1004-1011,2006.	Feasibility of left-lobe living donor liver transplantation between adults: a single center experience of 107 cases.	Soejima Y., et al.	第二外科
Int J Cancer,118:284-289,2006.	Akt is frequently activated in HER2/neu-positive breast cancers and associated with poor prognosis among hormone-treated patients.	Tokunaga E., et al.	第二外科
European J Cancer,42:629-635,2006	The association between Akt activation and	Tokunaga E., et al.	第二外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg,12:355-357,2006.	Extension of liver tissue into the thorax following a right extrapleural pneumonectomy for malignant pleural mesothelioma	Yoshino I., et al.	第二外科
Anticancer Res, 26:2243-2248,2006.	Expression of FHIT in esophageal epithelium and carcinoma: Reference to drinking, smoking and multicentric carcinogenesis.	Morita M., et al	第二外科
Nature Medicine2006. 7	Conditional ablation of Stat3 or Socs3 discloses a dual role for reactive astrocytes after spinal cord injury.	岡田誠司	整形外科
Journal ofArthroplasty2006. 4	Anteroposterior stability in posterior cruciate ligament-retaining total knee arthroplasty.	水内秀樹	整形外科
Journal ofCellular Biochemistry2006. 4	A promoter element of the CD-RAP gene is required for repression of gene expression in non-cartilage tissues in vitro and in vivo.	岡崎 賢	整形外科
Arthroscopy2006. 9	Arthroscopic resection of the discoid lateral meniscus : Long-term follow-up for 16 years.	岡崎 賢	整形外科
Connective Tissue Ressearch 2006. 4	Transient exposure of fibroblast growth factor-2 induced proliferative but not destructive changes in mouse knee joints.	神宮司誠也	整形外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Bone and Joint Surgery American Volume2006.12	The effect of ankle rotation on cutting of the tibia in total knee arthroplasty.	水内秀樹	整形外科
Surgical Neurology 65:563-568,2006 Jun	Factors that affect the surgical outcomes of the spinal dural arteriovenous fistulas	Nagata SSasaki T	脳神経外科
British Journal of Neurosurgery20:146-149,2006 Jun.	Surgical indications for arteriovenous malformations in patients over the age of 60 years: retrospective analysis of 33 patients	Nagata SSasaki T	脳神経外科
Neurosurgery59:830-837,2006 Oct.	Unilaterally symptomatic moyamoya diseases in children. Long-term follow-up of 20 patients	Nagata SSasaki T	脳神経外科
Surgical Neurology 66:50-55,2006 Jul	Retrospective analysis of the surgically treated temporal lobe arteriovenous malformation with focus on the visual field defects and epilepsy.	Nagata SSasaki T	脳神経外科
Epilepsia 47(2):365-370, 2006 Feb	Epileptogenicity of supratentorial medullary venous malformation	Morioka TSasaki T	脳神経外科
Clinical Chemistry52:370-378, 2006 Mar.	Allelic losses of chromosome 10 in glioma tissues detected by quantitative single-strand conformation polymorphism analysis	Hata NSasaki T	脳神経外科
J Neuropathology Experimental Neurology65(12): 1181-1188, 2006 Dec.	Activation of STAT3, MAPK, and AKT in Malignant Astrocytic Glioma: Correlation With EGFR status, Tumor Grade, and Survival	Mizoguchi M	脳神経外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann 14(5) : 422-424, 2006	Cardiac tamponade due to spontaneous rupture of large coronary artery aneurysms	Kimura S	心臓外科
Pediatric Cardiology 27: 13-18, 2006	Different responses in adult and neonatal hearts to changes in coronary perfusion pressure	Ishiyama N	心臓外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Asian Cardiovasc Thorac Ann 14(2):145-149, 2006	Bilateral axillary arterial perfusion to reduce brain damage in surgery on thoracic aorta	Kurisu K	心臓外科
J Immunol 177: 8400-8409, 2006	Regulatory roles of NKT cells in the induction and maintenance of cyclophosphamide-induced tolerance	Iwai T	心臓外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg 5: 9-10, 2006	Venous cannulation for extracorporeal circulation after total cavopulmonary connection with extracardiac conduit	Tanoue Y	心臓外科
J Heart Lung Transplant 25(2):219-225, 2006	A comparative study of cardiac preservation with leision UW solution with or without preceding administration of cardioplegia	Boku N	心臓外科
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54(4) : 149-154, 2006	Prostaglandin E1 attenuates impairment of cellular immunity after cardiopulmonary bypass	Sano T	心臓外科
Scand J Immunol 63: 435-443, 2006	Sequential analysis of anti- $\alpha$ Gal Natural antibody-producing B cells in GalT knockout mice in cyclophosphamide-induced tolerance	Shimizu I	心臓外科
Transplantation 81: 95-100, 2006	Decay-accelerating factor prevents acute humoral rejection induced by low levels of anti- $\alpha$ Gal natural antibodies	Shimizu I	心臓外科
Eur J Cardio-thorac Surg 29: 1056-1058, 2006	Modified Damus-Kaye-Stansel procedure using aortic flap technique for systemic ventricular outflow tract obstruction in functionally univentricular heart	Masuda M	心臓外科
Jpn J Cardiovasc Surg 35:221-234, 2006	Rupture of the inferior Vena Cava associated with complete thrombotic occlusion after placement of a caval filter	Imasaka K	心臓外科
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54(7):304-307, 2006	Obstruction of the left ventricular outflow tract due to Pannus formation after the implantation of a CarboMedics aortic valve	Imasaka K	心臓外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Eur J Cardio-thorac Surg 29(5): 784-789, 2006	The UW solution has greater potential for longer preservation periods than the Celsior solution: comparative study for ventricular and coronary endothelial function after 24-h heart preservation	Kajihara N	心臓外科
Circulation Journal 70(7): 909-912, 2006	Impact of atrial septal defect closure on right ventricular performance	Tanoue Y	心臓外科
Surg Today 36(7):602-607, 2006	Surgical experience of cardiac tumors: Early and late results	Kajihara N	心臓外科
Eur J Cardio-thorac Surg 30(4): 578-582, 2006	The logistic EuroSCORE predicts the hospital mortality of the thoracic aortic surgery in consecutive 327 Japanese patients better than the additive EuroSCORE	Nishida T	心臓外科
Pediatr Cardiol 27(4): 490- 492, 2006	Redirection of the hepatic venous flow for the treatment of pulmonary arteriovenous malformations after Fontan operation	Imoto Y	心臓外科
Scand J Immunol 64:392- 397, 2006	Application of chimerism-based drug-induced tolerance to rat into mouse xenotransplantation	Tomita Y	心臓外科
Histopathology 48:588-595, 2006	The distribution of matrix metalloproteinases and tissue inhibitors of metalloproteinases in the lungs of congenital diaphragmatic hernia patients and age-matched controls	Masumoto K, de Rooij JD, Suita S, Rottier R, Tibboel D, de Krijger RR	小児外科
J Pediatr Surg 41:1501-1505, 2006	Clinical characteristics and outcome of Wilms tumors with a favorable histology in Japan: a report from the study group for pediatric solid malignant tumors in the Kyushu Area, Japan	Suita S, Kinoshita Y, Tajiri T, et al	小児外科
J Pediatr Surg 41:560-566, 2006	Biological diagnosis for neuroblastoma using a highly sensitive analysis of prognostic factors	Tajiri T, Tanaka S, et al	小児外科
Pediatr Surg Int Epub ahead of print, 2006	A case of an inflammatory myofibroblastic tumor in the lung which expressed TPM3-ALK gene fusion	Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, et al	小児外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Pediatr Surg Int 22:891-896, 2006	Association between the HER2 expression and histological differentiation in Wilms tumor	Salem M, Kinoshita Y, Tajiri T, et al	小児外科
J Pediatr Surg 41:830-836, 2006	Increased expression of c-fos and c-jun in the rat small intestinal epithelium after ischemia-reperfusion injury: a possible correlation with the proliferation or apoptosis of intestinal epithelial cells	Shima Y, Tajiri T, Taguchi T, Suita S	小児外科
J Pediatr Surg 41:2046-2051, 2006	New classification of hypoganglionosis: congenital and acquired hypoganglionosis	Taguchi T, Masumoto K, Ieiri S, Nakatsuji T, Akiyoshi J	小児外科
Clin Dysmorphol 15:213-217, 2006	Oesophageal atresia with a terminal deletion of chromosome 2q37.1	Masumoto K, Suita S, Taguchi T	小児外科
Transplantation Proc 38:1851-1852, 2006	The relationship between real-time monitoring of the graft motility and mucosal histology in swine intestinal transplantation	Matsuura T, Taguchi T, Ogita K, et al	小児外科
Transplant Proc 38:1830-1835, 2006	The effect of a valine-rich diet on intestinal adaptation to massive small bowel resection in the rat	Takada N, Ogita K, Taguchi T, Masumoto K, Suita S	小児外科
Pediatr Hematol Oncol 23:531-540, 2006	Safe techniques for inserting the Hickman catheter in pediatric patients	Masumoto K, Uesugi T, Taguchi T, et al	小児外科
J Pediatr Urol 2:464-467, 2006	Differential development of ectopic testes based on their location in rats	Shono T, Kondo T, Suita S	小児外科
J Pediatr Surg 41:1610-1612, 2006	A case of an abdominoscrotal hydrocele surgically treated under laparoscopic assistance	Kinoshita Y, Shono T, Taguchi T, et al	小児外科
J Pediatr Surg 41:1290-1293, 2006	Age-specific effect of phthalate ester on testicular development in rats	Kondo T, Shono T, Suita S	小児外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Asian J Surg 29:202-206, 2006	Experimental study concerning safety dosage of OK-432 for intrauterine treatment	Ogita K, Taguchi T, Suita S	小児外科
J Dermatol	Prevention of postoperative pressure ulcers by a polyurethane film patch.	古江増隆	皮膚科
Int Immunol	Differential induction of Th1-prone immunity by human dendritic cells activated with Sporothrix schenckii of cutaneous and visceral origins to determine their different virulence.	上ノ土 武	皮膚科
Eur J Dermatol	Incidence of atopic dermatitis in nursery school children - a follow-up study from 2001 to 2004, Kyushu University Ishigaki Atopic Dermatitis Study (KIDS).	吹譯紀子	皮膚科
J Cutan Pathol	Expression of p16 and hTERT protein is associated with the presence of high-risk human papillomavirus in Bowenoid papulosis.	占部和敬	皮膚科
Am J Med Sci	Pneumatosis cystoides intestinalis with systemic sclerosis, limited type resulting in a poor prognosis.	濱田美奈子	皮膚科
J Invest Dermatol	Chemical peeling by SA-PEG remodels photo-damaged skin: suppressing p53 expression and normalizing keratinocyte differentiation.	大日輝記	皮膚科
Eur J Dermatol	Overexpression of phosphorylated-STAT3 and phosphorylated-ERK protein in dermatofibrosarcoma protuberans.	占部和敬	皮膚科
Urology 67 (2): 306-310, 2006	Predictives regarding outcome after transurethral resection for prostatic adenoma associated with detrusor underactivity.	Seki N, Kai N, Seguchi H, Takei M, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器科
Int J Urol 13 (6): 671-676, 2006	Clinical outcomes and learning curve of a laparoscopic adrenalectomy in 103 consecutive cases at a single institute.	Eto M, Harano M, Koga H, Tanaka M, Naito S:	泌尿器科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Pathol Int 56 (7): 390-396, 2006	Histopathological approach to prostatic contour alterations with the concept of left-right asymmetry.	Kiyoshima K, Oda Y, Tamiya S, Hori Y, Yamada T, Naito S, Tsuneyoshi M:	泌尿器科
BJU Int 98 (3): 549-553, 2006	Percentage of positive biopsy cores, preoperative prostate-specific antigen (PSA) level, pT and Gleason score as predictors of PSA recurrence after radical prostatectomy: a multi-institutional outcome study in Japan.	Yokomizo A, Murai M, Baba S, Ogawa O, Tsukamoto T, Niwakawa M, Tobisu K, Kinukawa N, Naito S:	泌尿器科
Neurourol Urodyn 25 (5): 428-432, 2006	Analysis of prognostic factors regarding the outcome after a transurethral resection for symptomatic benign prostatic enlargement.	Seki N, Takei M, Yamaguchi A, Naito S:	泌尿器科
Br J Cancer 95 (5): 601-606, 2006	NK105, a paclitaxel-incorporating micellar nanoparticle, is a more potent radiosensitising agent compared to free paclitaxel.	Negishi T, Koizumi F, Uchino H, Kuroda J, Kawaguchi T, Naito S, Matsumura Y:	泌尿器科
J Urol 176 (1): 40-43, 2006	Collecting duct (Bellini duct) renal cell carcinoma: A nationwide survey in Japan.	Tokuda N, Naito S, Matsuzaki O, Nagashima Y, Ozono S, Igarashi T:	泌尿器科
Urology 67 (3): 545-549, 2006	Sustained prophylactic effect of intravesical bacille calmette-guerin for superficial bladder cancer: a smoothed hazard analysis in a randomized prospective study.	Hinotsu S, Akaza H, Isaka S, Kanetake H, Kubota Y, Kuroda M, Sinohara N, Shinka T, Tachibana M, Naito S, Hirao Y:	泌尿器科
J Urol 176 (5): 2168-2172, 2006	The endoscopic surgical skill qualification system in urological laparoscopy: a novel system in Japan.	Matsuda T, Ono Y, Terachi T, Naito S, Baba S, Miki T, Hirao Y, Okuyama A:	泌尿器科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Prostate Cancer Prostatic Dis Jan 2: 1-8, 2006	Bicalutamide 80mg combined with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist (LHRH-A) versus LHRH-A monotherapy in advanced prostate cancer: findings from a phase III randomized, double-blind, multicenter trial in Japanese patients.	Usami M, Akaza H, Arai Y, Hirano Y, Kagawa S, Kanetake H, Naito S, Sumiyoshi Y, Takimoto Y, Terai A, Yoshida H, Ohashi Y:	泌尿器科
J Urol 176 (6 pt 2): S47-S49, 2006	The case for androgen deprivation as primary therapy for early stage diseases: results from J-CaP and CaPSURETM.	Akaza H, Hinotsu S, Usami M, Ogawa O, Kagawa S, Kitamura T, Tsukamoto T, Naito S, Hirao Y, Murai M, Yamanaka H, Namiki M:	泌尿器科
Int J Clin Oncol 11 (6): 434-440, 2006	A low-dose combination therapy of interleukin-2 and interferon- $\alpha$ is effective for lung metastasis of renal cell carcinoma: a multicenter open study.	Akaza H, Tsukamoto T, Onishi T, Miki T, Kinouchi T, Naito S:	泌尿器科
Int J Urol 13 (Suppl 1): A14, 2006	The members of National research Project on Endocrine-Radiation Combination Therapy for Locally Advanced Prostate Cancer: Longitudinal Assessment of Quality of Life in Men Treated with External Beam Radiotherapy Combined with Neoadjuvant and Adjuvant Endocrine Therapy for Locally Advanced Prostate Cancer.	Koga H, Ito K, Yamanaka H, Naito S:	泌尿器科
Epilepsy Behav, 9(1): 189-192, 2006	Different SPECT findings before and after Capgras' syndrome in interictal psychosis.	Horikawa H, Monji A, Sasaki M, Maekawa T, Onitsuka T, Nitazaka Y, Hirano Y, Hirano S, Hashioka S, Kato T, Yoshida I, Kanba S	精神科神経科
Eur Arch Psychiat Clin Neurosci, 256(5): 326-328, 2006	Impairment of theory of mind in patients in remission following first episode of schizophrenia.	Inoue Y, Yamada K, Hirano M, Shinohara M, Tamaoki T, Iguchi H, Tonooka Y, Kanba S	精神科神経科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Affect Disord, 95(1-3): 125-127, 2006	Deficit in theory of mind is a risk for relapse of major depression.	Inoue Y, Yamada K, Kanba S	精神科神経科
J Neurochem, 99: 198-205, 2006	Styrylbenzazole derivatives for imaging of prion plaques and treatment of transmissible spongiform encephalopathies.	Ishikawa K, Kudo Y, Nishida N, Suemoto T, Sawada T, Iwaki T, Doh-ura K	精神科神経科
J Neurosci, 26(6): 1688-1698, 2006	MTH1, an oxidized purine nucleoside triphosphatase, suppresses the accumulation of oxidative damage of nucleic acids in the hippocampal microglia during kainate-induced excitotoxicity.	Kajitani K, Yamaguchi H, Dan Y, Furuichi M, Kang D, Nakabeppu Y	精神科神経科
Arch Womens Ment Health, 9: 121-130, 2006	Multicentre Prospective study of perinatal depression in Japan: incidence and correlates of antenatal and postnatal depression.	Kitamura T, Yoshida K, Okano T, Kinoshita K, Hayashi M, Toyoda N, Ito M, Kudo N, Tada K, Kanazawa K, Sakumoto K, Satoh S, Furukawa T, Nakano H	精神科神経科
Neuropsychopharmacology, 31(1): 212-220, 2006	Assessment of the dexamethasone/CRH test as a state-dependent marker for hypothalamic-pituitary-adrenal (HPA) axis abnormalities in major depressive episode: A multicenter study.	Kunugi H, Ida I, Owashi M, Kimura M, Inoue Y, Nakagawa S, Yabana T, Urushibara T, Kanai R, Aihara M, Yuuki N, Otsubo T, Oshima A, Kudo K, Inoue T, Kitaichi Y, Shirakawa O, Isogawa K, Nagayama H, Kamijima K, Nanko S, Kanba S, Higuchi T, Mikuni M	精神科神経科
Am J Psychiat, 163: 2103-2110, 2006	Middle and inferior temporal gyrus gray matter volume in first-episode schizophrenia: an MRI Study.	Kuroki N, Shenton ME, Salisbury DF, Hirayasu Y, Onitsuka T, Ersner-Hershfield H, Yurgelun-Todd D, Kikins R, Jolesz FA, Mc Carley RW	精神科神経科
Protein Sci, 15(10): 2448-2452, 2006	Amyloid formation in denatured single-mutant lysozymes where residual structures are modulated.	Mishima T, Ohkuri T, Monji A, Imoto T, Ueda T	精神科神経科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
DNA Repair, 5: 761-772, 2006	MTH1, an oxidized purine nucleoside triphosphatase, prevents the cytotoxicity and neurotoxicity of oxidized purine nucleotides.	Nakabeppu Y, Kajitani K, Sakamoto K, Yamaguchi H, Tsuchimoto D	精神科神経科
Emerg Med J, 23: 468-469, 2006	Mental health service requirements in a Japanese medical centre emergency department.	Nishi D, Matsuoka Y, Kawase E, Nakajima S, Kim Y	精神科神経科
Neuropathology, 26 (6): 508-518, 2006	Quantitative analysis of neurofibrillary pathology in a general population to reappraise neuropathological criteria for senile dementia of the neurofibrillary tangle type (tangle-only dementia): The Hisayama study.	Noda K, Sasaki K, Fujimi K, Wakisaka Y, Tanizaki Y, Wakugawa Y, Kiyohara Y, Iida M, Aizawa H, Iwaki T	精神科神経科
J Neuropsychiatry Clin Neurosci, 18(4): 557-559, 2006	Interictal psychosis after stroke with forced normalization.	Ohara T, Monji A, Onitsuka T, Maekawa T, Hirano Y, Hirano S, Hashioka S, Kato T, Yoshida I, Kanba S	精神科神経科
Am J Psychiat, 163: 455-462, 2006	Functional and structural deficits in brain regions subserving face perception in schizophrenia.	Onitsuka T, Niznikiewicz MA, Spencer KM, Frumin M, Kuroki N, Lucia LC, Shenton ME, Mc Carley RW	精神科神経科
J Pathol, 209: 484-491, 2006	Clusterin expression in follicular dendritic cells associated with prion protein accumulation.	Sasaki K, Doh-ura K, Ironside JW, Mabbott NA, Iwaki T	精神科神経科
Child Abuse Review, 15: 204-218, 2006	The mental health of mothers of psysically abused children: The relationship with children's behavioural problems-report from Japan.	Takei T, Yamashita H, Yoshida K	精神科神経科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Psychiat Clin Neurosci, 60: 182-189, 2006	Impact of infant-related problems on postpartum depression: Pilot study to evaluate a health visiting system.	Ueda M, Yamashita H, Yoshida K	精神科神経科
Neurosci Lett, 399: 171-174, 2006	A decreased survival of proliferated cells in the hippocampus is associated with a decline in special memory in aged rats.	Wati H, Kudo K, Qiao C, Kuroki T, Kanba S	精神科神経科
Brain Res, 1131(1): 88-96, 2007, 2006	The dopamine D1 receptor agonist, but not the D2 receptor agonist, induces gene expression of Homer 1a in rat striatum and nucleus accumbens.	Yamada H, Kuroki T, Nakahara T, Hashimoto K, Tsutsumi T, Hirano M, Maeda H	精神科神経科
Psychiat Res 141: 61-69, 2006	Prediction of medication noncompliance in outpatients with schizophrenia: 2-year follow up study.	Yamada K, Watanabe K, Nemoto N, Fujita H, Chikaraishi C, Yamauchi K, Yagi G, Asai M, Kanba S	精神科神経科
Neurochem Int, 48(8): 696-702, 2006	Depletion of intracellular Ca <sup>2+</sup> store itself may be a major factor in thapsigargin-induced ER stress and apoptosis in PC12cells.	Yoshida I, Monji A, Kato T, Nakamura K, Inoue R, Kanba S	精神科神経科
Psychiat Clin Neurosci, 60: 778-779, 2006	Prescription pattern of antipsychotic drugs for schizophrenic inpatients in Japan: Research on East Asia Psychotropic Prescription Pattern-Antipsychotics (REAP-AP) study.	Yoshimura R, Okamoto T, Nakamura J, Tateno M, Otsuka K, Takahashi H, Fujisawa D, Takamatsu T, Fujii S, Sato S, Inoue M, Sasaki H, Kuroki T, Shinfuku T	精神科神経科
Acad Radiol, 13(11): 1373-1378, 2006	Cerebral white matter degeneration in frontotemporal dementia detected by diffusion-weighted magnetic resonance imaging.	Yoshiura T, Mihara F, Koga H, Noguchi T, Togao O, Ohyagi Y, Ogomori K, Ichimiya A, Kanba S, Honda H	精神科神経科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Acad Radiol, 13: 1460-1464, 2006	Mapping of subcortical white matter abnormality in Alzheimer's disease using diffusion-weighted magnetic resonance imaging.	Yoshiura T, Mihara F, Koga H, Ohyagi Y, Noguchi T, Togao O, Ogomori K, Miyoshi K, Yamasaki T, Kaneko K, Ichimiya A, Kanba S, Honda H	精神科神経科
Molecular Vision 12: 1558-1564, 2006	Novel triple missense mutations of GUCY2D gene in Japanese family with cone-rod dystrophy: possible use of genotyping microarray.	Yoshida S, Yamaji Y, et al	眼科
Exp Eye Res 83: 1031-1040, 2006	The regulation of vascular endothelial growth factors (VEGF-A, -C, and -D) expression in the retinal pigment epithelium.	Ikeda Y, Yonemitsu Y, et al	眼科
Retina 26: 623-630, 2006.	Preclinical investigation of Internal limiting membrane peeling and staining using intravitreal Brilliant Blue G	Enaida H, Hisatomi T, et al	眼科
Retina 26: 631-636, 2006	Brilliant blue G selectively stains the Internal Limiting Membrane/Brilliant Blue G-assisted Membrane Peeling.	Enaida H, Hisatomi T, et al	眼科
European Journal of Ophthalmology 16: 279-286, 2006	Evaluating adjunctive surgical procedures during vitrectomy for diabetic macular edema.	Mochizuki Y, Hata Y, et al	眼科
Head Neck. 28(1):24-30, 2006.	Role of Squamous Cell Carcinoma Antigen 1 expression in the invasive potential of head and neck squamous cell carcinoma.	Nakashima T	耳鼻咽喉科 頭頸部外科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 291(4):L619-L627, 2006.	SERPINB1 up-regulation is associated with in vivo complex formation with neutrophil elastase and cathepsin G in a baboon model of bronchopulmonary dysplasia.	Yasumatsu R	耳鼻咽喉科 頭頸部外科
Life Sci. 79:1021-1026, 2006.	Run down of GABAergic depolarization during metabolic inhibition of rat hippocampal CA1 neurons.	Matsumoto N	耳鼻咽喉科 頭頸部外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
European Journal of Radiology 2007 March (Epub 2006 Nov 16.)	Significance of mesenteric lymphadenopathy after pancreaticoduodenectomy for periampullary carcinomas: evaluation with serial MDCT studies.	Ishigami K	放射線科
American Journal of Roentgenology.2006 October	Accessory left gastric artery from left hepatic artery shown on MDCT and conventional angiography: correlation with CT hepatic arteriography.	Ishigami K	放射線科
Journal of Computer Assisted Tomography. 2007 March-April	Poorly versus moderately differentiated hepatocellular carcinoma: vascularity assessment by computed tomographic hepatic angiography in correlation with histologically counted number of unpaired arteries.	Asayama Y	放射線科
American Journal of Neuroradiology 27 (2)February 2006.	Cerebral hemodynamics in Moyamoya disease: correlation between perfusion-weighted MR imaging and cerebral angiography.	Togao O	放射線科
Academic Radiology 13 (11) Npvenber 2006.	Cerebral white matter degeneration in frontotemporal dementia detected by diffusion-weighted magnetic resonance imaging.	Yoshiura T	放射線科
American Journal of Neuroradiology 27(10)October 2006.	MR imaging of human herpesvirus-6 encephalopathy after hematopoietic stem cell transplantation in adults.	Noguchi T	放射線科
Academic Radiology 13 (12): December 2006.	Mapping of subcortical white matter degeneration using diffusion-weighted magnetic resonance imaging.	Yoshiura T	放射線科
Academic Radiology 2006 January	Fractional Anisotropy is higher in Heschl's gyrus than in superior temporal gyrus in normal subjects.	Hiwatashi A	放射線科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
European Radiology 2007;17(5)May.	Detection of masses and microcalcifications of breast cancer on digital mammograms: comparison among hard-copy film, 3-megapixel liquid crystal display (LCD) monitors and 5-megapixel LCD monitors: an observer performance study.	Kamitani T	放射線科
European Journal of Radiology (Epub ahead of print).	Optimal gradation processing parameter for soft-copy reading of digital mammogram: comparison between the parameter recommended for hard-copy and other parameters.	Kamitani T	放射線科
Nuclear Medicine Commun. 2007 July	Clinical role of <sup>123</sup> I-IMP SPECT for the differential diagnosis of ocular malignant melanoma: a time-course analysis.	Abe K	放射線科
Acta Radiologica. 2006December.	O-(2-[ <sup>18</sup> F]fluoroethyl)-L-tyrosine ( <sup>18</sup> F-FET) uptake in mouse thymoma cells, and its biodistribution in mice and human volunteers.	Abe K	放射線科
Nuclear Medicine Commun. 2006 November	Pre-surgical identification of epileptogenic areas in temporal lobe epilepsy by <sup>123</sup> I-iodozepam SPECT: a comparison with IMP SPECT and FDG PET.	Kaneko K	放射線科
Radiation Medicine.25(1)January 2007.	Erythema multiforme and Stevens-Johnson syndrome following radiotherapy.	Yoshitake T	放射線科
Radiation 24(4)April2006.	Long-term local control of recurrent adenoid cystic carcinoma in the parotid gland with radiotherapy and intraarterial infusion chemotherapy.	Terashima K	放射線科
Japanese Journal of Oncology.36(11)November 2006	Long-term functional outcome of brachytherapy for carcinoma of the mobile tongue: focus on the atrophic change of irradiated tongue.	Urashima Y	放射線科
International Journal of Radiation Oncology Biology Physics. 65(4)April 2006	Multi-institutional analysis of early squamous cell carcinoma of the hypopharynx treated with radical radiotherapy.	Nakamura K	放射線科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Japanese Journal of Clinical Oncology. 36(1)January 2006.	Is glossectomy necessary for late nodal metastases without clinical local recurrence after initial brachytherapy for NO tongue cancer? A retrospective experience in 111 patients who received salvage therapy for cervical failure.	Urashima Y	放射線科
麻酔 55 (8) : 1031-1038, 2006	2004年周術期肺血栓塞栓症発症アンケート調査結果からみた本邦における発症頻度とその特徴	入田和男	麻酔科蘇生科
Transplantation 82 (2):241-250, 2006	Liver regeneration is suppressed in small-for-size liver grafts after transplantation: Involvement of c-Jun N-terminal kinase, cyclin D1, and defective energy supply.	甲斐陽一郎	麻酔科蘇生科
Mitochondrion 6: 299-304, 2006	Rapid and random turnover of mitochondrial DNA in rat hepatocytes of primary culture	甲斐陽一郎	麻酔科蘇生科
Cancer Gene Ther 2006	Antiangiogenic activity of BAI1 in vivo: implications for gene therapy of human glioblastomas	Kurita, R Tani K. et al	先端分子・細胞治療科
J Gene Med.2006	p51/p63, a novel p53 homologue, potentiates p53 activity and is a human cancer gene therapy candidate .	Maeda, T., Nakazaki, Y., Kurita, R. Tani, K., et al	先端分子・細胞治療科
Mol Ther 2006	Serial analysis of gene expression in progressing and regressing mouse tumors implicates the involvement of RANTES and TARC in antitumor immune responses.	Nakazaki, Y., Inoue, H., Sakaguchi, G., Kurita, R., Tani, K. et al	先端分子・細胞治療科
Cancer Biother Radiopharm. 2006.	Protective effect of irradiated renal carcinoma expressing hepatitis B surface antigen against renal-cell carcinoma-mediated tumors.	Tani K et al	先端分子・細胞治療科
Cancer Res 2006.	Fhit Modulates the DNA Damage Checkpoint Response.	Tani, K., et al	先端分子・細胞治療科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Eur J Haematol 2007	Epithelioid hemangioendothelioma presenting with severe myelofibrosis and a high serum hyaluronan level.	Suehiro Y, Tachikawa Y, Tani K. et al	先端分子・細胞治療科
Cancer Sci 2006;97:716-23	Inhibitory effect of coenzyme Q on eukaryotic DNA polymerase gamma and DNA topoisomerase II activities on the growth of a human cancer cell line.	Yonezawa, Y., Kuriyama, I., Fukuoh, A., Muta, T., Kang, D., Takemura, M., Kato, I., Yoshida, H., and Mizushima, Y.	検査部
Cell Death Differ 2006;13:551-63	MTH1, an oxidized purine nucleoside triphosphatase, protects the dopamine neurons from oxidative damage in nucleic acids caused by 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine.	Yamaguchi, H., Kajitani, K., Dan, Y., Furuichi, M., Ohno, M., Sakumi, K., Kang, D., and Nakabeppu, Y.	検査部
J Biochem (Tokyo) 2006;139:903-12.	The functional role of arginine 901 at the C-terminus of the human anion transporter band 3 protein.	Takazaki, S., Abe, Y., Kang, D., Li, C., Jin, X., Ueda, T., and Hamasaki, N.	検査部
J Mol Med 2006;84:660-70.	The GT to GC single nucleotide polymorphism at the beginning of an alternative exon 2C of human MTH1 gene confers an amino terminal extension that functions as a mitochondrial targeting signal.	Sakai, Y., Oda, H., Yoshimura, D., Furuichi, M., Kang, D., Iwai, S., Hara, T., and Nakabeppu, Y.	検査部
Biochemistry 2006;45:12117-24.	Identification of Oxidized Methionine Sites in Erythrocyte Membrane Protein using LC/ESI MS Peptide Mapping.	Li, C.Y., Takazaki, S., Jin, X.R., Kang, D., Abe, Y., and Hamasaki, N.	検査部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Thromb Haemost 2006;96:854-5.	Factor XII gene (F12) -4C/C polymorphism in combination with low protein S activity is associated with deep vein thrombosis.	Kanaji, T., Watanabe, K., Hattori, S., Urata, M., Iida, H., Kinoshita, S., Kayamori, Y., Kang, D., and Hamasaki, N.	検査部
J Neurosci 2006;26:1688-98.	MTH1, an oxidized purine nucleoside triphosphatase, suppresses the accumulation of oxidative damage of nucleic acids in the hippocampal microglia during kainate-induced excitotoxicity.	Kajitani, K., Yamaguchi, H., Dan, Y., Furuichi, M., Kang, D., and Nakabeppu, Y.	検査部
Luminescence 2006;21:62-6.	Study on immunocapture-chemiluminescence assay of lipase activity in a biological sample.	Ichibangase, T., Hamabe, C., Ohba, Y., Kishikawa, N., Nakashima, K., Kayamori, Y., Kang, D., Hamasaki, N., and Kuroda, N.	検査部
J Cell Physiol 2006;209:923-34.	Acute loss of transcription factor E2F1 induces mitochondrial biogenesis in HeLa cells.	Goto, Y., Hayashi, R., Kang, D., and Yoshida, K.	検査部
Protein Pept Lett 2006;13:761-7.	A simple search of TM segments in polytopic membrane protein using matrix-assisted laser desorption ionization time-of-flight mass spectrometry.	Abe, Y., Hamasaki, T., Turusaki, S., Takazaki, S., Jin, X., Kang, D., and Hamasaki, N.	検査部
Adv Clin Chem 2006;42:217-54.	Mitochondrial disease: maintenance of mitochondrial genome and molecular diagnosis.	Kang, D., and Hamasaki, N.	検査部
Clinica Chimica Acta 364:246-250,2006	Proposal of automation of candidate reference method for the accurate serum cholesterol assay in clinical laboratories.	Sakurabayashi, I. Watano, T. Inaba, N. Kishi, K. Yamashita, K. Kayamori, Y.	検査部
福岡医学雑誌 2006;97:351-7.	体細胞ミトコンドリアDNAの維持機構:疾患と老化.	康東天.	検査部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
細胞 2006;38:304-5.	ミトコンドリアゲノムと癌.	康東天	検査部
医学のあゆみ 2006;218:11-8	体細胞ミトコンドリアDNAの維持.	康東天	検査部
日本検査血液学会雑誌 7:120-129,2006.	赤血球形態の標準化について	須田正洋,栢森裕三, 牟田正一,桑岡勲,中 島瑞枝,坂本悦子,一 瀬康浩,横井浩,阿南 建一	検査部
臨床化学35:390-419,2006.	血清中の総コレステロール濃度測定の勧 告法	栢森裕三,森下芳孝, 松本祐之,荻津直通, 木澤仙次,前田悟司, 増田詩織,吉田隆則, 奈須正人,梅本雅夫, 片山善章	検査部
検査と技術, 34, 457, 2006.	ワンポイントアドバイス「中性脂肪測定用標 準物質と測定対象物」	栢森裕三	検査部
Forcus on Cholesterol Research. 75-146.2006	Lipid Standardization Result of Japanese Manufacturers by US Cholesterol Reference Method Laboratory Network Certification Protocols and Reagents' Specificity and Performance.	Nakamura, M.Kayamori, Y.Sato, S.Shimamoto. T.	検査部
日本手術医学会誌27(3): 185-189, 2006 (2006年8月31 日発行)	手術時手洗い水としての滅菌水と水道水 の比較-手洗い直後および3時間後の手 指細菌数の比較から-	奥 千恵美, 永淵美 佳, 新貝美智子, 高 木祥子, 白石公德, 甲斐哲也	手術部
Hum Pathol. 2006 Mar;37(3):283-91.	Prognostic impact of cholangiocellular and sarcomatous components in combined hepatocellular and cholangiocarcinoma	Aishima S, Tsuneyoshi M	病理部
Mod Pathol 19 : 820- 831,2006	Prognostic significance of dysadherin expression in epithelioid sarcoma and its diagnostic utility in distinguishing epithelioid sarcoma from malignant rhabdoid tumor	Izumi T, Oda Y,	病理部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Mod Pathol 19: 738-745, 2006	CXCR4 and VEGF expression in the primary site and the metastatic site of human osteosarcoma: analysis within a group of patients, all of whom developed lung metastasis	Oda Y, Yamamoto H	病理部
Mod Pathol 19: 524-532, 2006	Aberrant expression of CHFR in malignant peripheral nerve sheath tumors	Kobayashi C, Oda Y,	病理部
World J Gastroenterology Vol.12(16):2510-2516, 2006	Extremely well-differentiated adenocarcinoma of the stomach: Clinicopathological and immunohistochemical features	Yao T	病理部
Pathol Int 56 : 584-590, 2006	Absence of human herpesvirus-8 and Epstein-Barr virus in inflammatory myofibroblastic tumor with anaplastic large cell lymphoma kinase fusion gene	Yamamoto H,	病理部
International Journal of Hematology, 2006 Dec	Late relapse of acute myelogenous leukemia followed by Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disease 11 years after allogeneic bone marrow transplantation	Kikushige Y, Miyamoto T, et al	遺伝子・細胞療法部
Journal of Clinical Oncolgy, 2006 Dec	Primary hepatic lymphoma 1 year after resection of hepatocellular carcinoma.	Nonami A, Miyamoto T, et al	遺伝子・細胞療法部
Rinsho Kesueki, 2006 Oct	Acute lymphoblastic leukemia presenting with calcineurin-inhibitor induced pain syndrome after a second allogeneic bone marrow transplantation	Takashima S, Miyamoto T, et al	遺伝子・細胞療法部
Mol Cell Biol 2006 Nov	Essential role for cyclin d3 in granulocyte colony-stimulating factor-driven expansion of neutrophil granulocytes	Sicinska, E et al.	遺伝子・細胞療法部
Nat Genet 2006 Jan	Lymphoid cell growth and transformation are suppressed by a key regulatory element of the gene encoding PU.1	Rosenbauer, F et al.	遺伝子・細胞療法部
Nat Immunol 2006 Jul	C/EBPbeta is required for 'emergency' granulopoiesis	Hirai H et al.	遺伝子・細胞療法部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Blood2006 Sep	Oncogenic K-ras cooperates with PML-RARalpha to induce an acute promyelocytic leukemia-like disease	Chan IT et al.	遺伝子・細胞療法部
Genes Dev2006 Nov	The order of expression of transcription factors directs hierarchical specification of hematopoietic lineages	Iwasaki H et al.	遺伝子・細胞療法部
Immunity2006 Nov	Thymus exclusivity: all the right conditions for T cells	Iwasaki H, et al.	遺伝子・細胞療法部
Blood2006 Jan	Fetal tolerance to maternal antigens improves the outcome of allogeneic bone marrow transplantation by a CD4+CD25+ T cell-dependent mechanism	Matsuoka K, et al	遺伝子・細胞療法部
European Journal of Haematology2006 May	Complete donor chimaerism of Langerhans cells in lymph node early after allogeneic bone marrow transplantation.	Ikeda K, et al	遺伝子・細胞療法部
Transfusion2006 Feb	Transient respiratory disturbance by granulocyte-colony-stimulating factor administration in healthy donors of allogeneic peripheral blood progenitor cell transplantation	Yoshida I, et al	遺伝子・細胞療法部
FEBS Letters2006 Aug	Bone marrow transplantation improves outcome in a mouse model of congenital muscular dystrophy.	Hagiwara H, et al	遺伝子・細胞療法部
日本輸血細胞治療学会誌 2006 Dec	血液型不適合移植でのCOBE Spectraを用いた骨髄濃縮法の検討	平安山知子, et al	遺伝子・細胞療法部
Blood2006 Feb	Donor-derived thymic-dependent T cells cause chronic graft-versus-host disease.	Sakoda Y, et al	遺伝子・細胞療法部
European Journal of Immunology2006 Jan	FTY720 enhances the activation-induced apoptosis of donor T cells and modulates graft-versus-host disease.	Hashimoto D, et al	遺伝子・細胞療法部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Experimental Hematology2006 Feb	Lymphopenia induced proliferation of donor T cells reduces their capacity for causing acute graft-versus-host disease.	Maeda Y, et al	遺伝子・細胞療法部
International Journal of Hematology2006 Jun	Calcineurin inhibitor-induced irreversible neuropathic pain after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Fujii N, et al	遺伝子・細胞療法部
Cancer Immunol Immunother 55:394-403,2006	Interferon- $\alpha$ / $\beta$ upregulate IL-15 expression in vitro and in vivo : analysis in human hepatocellular carcinoma cell lines and in chronic hepatitis C patients during interferon- $\alpha$ / $\beta$ treatment.	Yamaji K	総合診療部
World J Gastroentrol 12(4):561-567,2006	Long-term lamivudine treatment for chronic hepatitis B in Japanese patients : A project of Kyushu University Liver Disease Study.	Furusyo N	総合診療部
Cytokine33:121-128,2006	A comparison of the antitumor effects of interferon- $\alpha$ and $\beta$ on human hepatocellular carcinoma cell lines.	Murata M	総合診療部
World J Gastroenterol 12(5):784-790,2006	Interferon alpha plus ribavirin combination treatment of Japanese chronic hepatitis C patients with HCV genotype 2 : A project of the Kyushu University Liver Disease Study Group.	Furusyo N	総合診療部
J Infect Chemother 13:92-98,2007	Effect on carotid atherosclerosis of probucol plus levofloxacin for Chlamydia pneumoniae infection.	Sawayama Y	総合診療部
J Pediatr 2007 (in press)	An effective scoring system of chest CT for assessing the clinical status of neonatal bronchopulmonary dysplasia	Ochiai M, Hikino S, Ohga S, Hara T	周産母子センター
Eur J Pediatr 2007 (in press)	An echovirus type 18 outbreak in a neonatal intensive care unit	Kusuhara K, Hikino S, Hara T	周産母子センター
Fetal Diag Ther 22:68-74, 2006	Long-term outcome in twin-to-twin transfusion syndrome	Hikino S, Ohga S, Hara T	周産母子センター

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Am J Perinatol 23:63-66, 2006	Generalized lymphatic dysplasia in a translocation trisomy 21 infant with non-immune hydrops fetalis	Ochiai M, Hikino S, Kinjo T, Ohga S, Hara T	周産母子センター
Pediatr Transplant 10:497-500, 2006	Unrelated cord blood donor transplantation for childhood severe aplastic anemia after a modified conditioning	Ohga S, Hara T	周産母子センター
Clin Exp Immunol 144:85-89, 2006	Maturation alterations of peripheral T cell subsets and cytokine gene expression in chromosome 22q11.2 deletion syndrome	Kanaya Y, Ohga S, Hara T	周産母子センター
Vaccine24:2208-2212, 2006	Serum immunoglobulin levels do not affect antibody responses to influenza HA vaccine in preterm infants	Sasaki Y, Hikino S, Hara T.	周産母子センター
Histopathology 48:588-595, 2006	The distribution of matrix metalloproteinases and tissue inhibitors of metalloproteinases in the lungs of congenital diaphragmatic hernia patients and age-matched controls	Masumoto K, de Rooij JD, Suita S, Rottier R, Tibboel D, de Krijger RR	周産母子センター
Asian J Surg 29:202-206, 2006	Experimental study concerning safety dosage of OK-432 for intrauterine treatment	Ogita K, Taguchi T, Suita S	周産母子センター
American Journal of Reproductive Immunology	Neutrophil function during pregnancy: Is nitric oxide production correlated with superoxide production?	Tsukimori, K.	周産母子センター
J. Perinat. Med	Pleural fluid/serum immunoglobulin ratio is a diagnostic marker for congenital chylothorax in utero	Tsukimori, K.	周産母子センター
AMERICAN JOURNAL OF PERINATOLOGY	Sudden Fetal Death Associated with Both Duodenal Atresia and Umbilical Cord Ulcer: A Case Report and Review	Anami, A.	周産母子センター
Ultrasound Obstet Gynecol	Spontaneous rupture of sacrococcygeal teratoma associated with acute fetal anemia	Yamaguchi, Y.	周産母子センター

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Japan Society of Obstetrics and Gynecology	Fetal aortic distension waveforms for evaluating cardiac function and changes in blood pressure: Fetal lamb validation	Fujita, Y.	周産母子センター
The Ultrasound Review of Obstetrics and Gynecology	Significance of fetal behavioral studies	Fukushima, K.	周産母子センター
Res. Adv. in Hypertension	Neutrophil activation in the pathogenesis of preeclampsia	Tsukimori, K.	周産母子センター
Ultrasound Obstet Gynecol	Fetal isovolumetric contraction time in a case of fetal tachyarrhythmia	Fujita, Y.	周産母子センター
Gait and Posture25: 222-228, 2007.	A comparison of muscle activity and heart rate response during backward and forward walking on an underwater treadmill.	Masumoto K, Takasugi S, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J Epidemiol 16: 21-29, 2006	Factors associated with functional limitation in stair climbing in female Japanese patients with knee osteoarthritis.	Kondo K, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J Orthop Sci 11:264-6, 2006.	Asymmetry of mediolateral laxity of the normal knee.	Okazaki K, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J Arthroplasty 21:592-598, 2006.	Anteroposterior stability in posterior cruciate ligament-retaining total knee arthroplasty.	Mizu-uchi H, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
Arthroscopy 22: 967-971, 2006.	Arthroscopic resection of the discoid lateral meniscus: Long-term follow-up for 16 years.	Okazaki K, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J Orthop Sci 11:394-400, 2006.	Functional evaluation of four patients treated with V-Y quadricepsplasty in total knee arthroplasty.	Tsukamoto N, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Neurosurg Spine 5:234-242, 2006.	Repetitive tensile stress to rat caudal vertebrae inducing cartilage formation in the spinal ligaments: A possible role of mechanical stress in the development of ossification of the spinal ligaments.	Tsakamoto N, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J Bone Joint Surg 88-A:2632-2636, 2006.	The effect of ankle rotation on cutting of the tibia in total knee arthroplasty.	Mizu-uchi H, Miura H, Iwamoto Y	リハビリテーション部
J. Tele.Telecare12(sup3)(53):26-28 (2006)	High definition digital video links for surgical training.	Carati C, Shimizu S. et al	光学医療診療部
Dig Dis Sci. 51(8);p1357-p1363 (2006)	Endoscopic Features of Chronic Nonspecific Multiple Ulcers of the Small Intestine: Comparison with Nonsteroidal Anti-inflammatory Drug-Induced Enteropathy.	Matsumoto T, Yada S, et al	光学医療診療部
The Japan Journal 2(11): 30, 2006	Scientist Robosurgeon.	Hashizume M.	先端医工学診療部
Asian Hospital & Healthcare Management 25-26, 2006	Minimally Invasive Surgery Rise of the robotic systems.	Hashizume M.	先端医工学診療部
Japan Medical Association Journal 49(11・12) : 333-334, 2006	New Surgical Robotics for Clinical Use in Neurosurgery.	Hashizume M.	先端医工学診療部
Surgical Endoscopy 20(5): 753-756, 2006	Laparoscopic cholecystectomy using a newly developed laparoscope manipulator for 10 patients with cholelithiasis.	Tanoue K.	先端医工学診療部
日本機械学会雑誌 109(1047): 86-87, 2006	ロボットサージャリーにおける医工連携(医学からみた) - 国産手術支援ロボットの臨床応用に向けて -	家入 里志	先端医工学診療部
M&E 33(7): 158-161, 2006	国産発手術支援ロボット.	田上 和夫	先端医工学診療部

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
日本コンピュータ外科学会誌 8(2): 81-87, 2006	光磁気ハイブリッド三次元位置センサによる内視鏡外科手術ARナビゲーションシステム ~in vivo 精度検証~.	小西 晃造	先端医工学 診療部
Journal of Oral Rehabilitation 2006, April 2006	Craniofacial growth and functional change in oligodontia with ectodermal dysplasia: a case report	K. Nonaka	小児歯科
Biochemical and Biophysical Research Communication, July 2006	Induction of salivary kallikreins by the diet containing a sweet-suppressive peptide, gumarin, in the rat.	Yuki Nakamura	小児歯科
Oral Microbiology and Immunology, August 2006	Induction of Porphyromonas gingivalis GroEL signaling via binding to Toll-like receptor 2 and 4	Noboru Yamaguchi	小児歯科
Archives of Oral Biology, March 2007	Amelogenin is a negative regulator of osteoclastogenesis via down-regulation of RANKL, M-CSF and expression in osteoblasts	Tomokazu Hasegawa	小児歯科
FEMS Immunology and Medical Microbiology, March 2007	Adiponectin inhibits osteoclast formation stimulated by lipopolysaccharide from Actinobacillus actinomycetemcomitans	Noboru Yamaguchi	小児歯科
Developmental Biology, March 2007	The role of TGF- $\beta$ signaling in regulating chondrogenesis and osteogenesis during mandibular development	Kyoko Oka	小児歯科
日本顎口腔機能雑誌2006	顎口腔機能の四次元的解析システム—顎変形症患者への応用—(学術奨励賞)	寺嶋雅彦	矯正歯科
Orthodontic Waves2006.6	高速度カメラを用いた口唇の発語運動解析(学術奨励賞)	村岡史麻	矯正歯科
日本歯内療法学会雑誌28 (1):38-44 2007	レジン系根管充填用シーラーの細胞毒性に関する研究	吉嶺嘉人	歯内治療科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Dentistry 2007 Jun;35(6):535-40.	Long-term follow-up of composite resin restorations with self-etching adhesives.	Unemori M	歯内治療科
J Biol Chem 281(41): 30542-30550, 2006.	Cloning and characterization of the annexin II receptor on human marrow stromal cells.	Maeda H	歯内治療科
Cell Tissue Res. 324(1): 117-125, 2006.	Establishing and characterizing human periodontal ligament fibroblasts immortalized by SV40T-antigen and hTERT gene transfer.	Fuji S	歯内治療科
日本歯科保存学雑誌 48(6): 813-821, 2005.	象牙芽細胞分化過程における転写因子 Osterixの発現とその調節機構.	石河真幸	歯内治療科
日歯内療誌27(3):126-131, 2006	MTA 及びSuper-Bondのヒト歯根膜細胞の骨芽細胞様分化に及ぼす影響に関する研究.	野田亮	歯内治療科
日本歯科保存学雑誌49(6): 749-754, 2006.	Er:YAGレーザーの根管内照射による影響—歯根表面温度の変化について—.	松本妃可	歯内治療科
Journal of Bone and Mineral Research2006年	Differentiation-inducing factor-1 alters canonical Wnt signaling and suppresses alkaline phosphatase expression in osteoblast-like cell lines.	E.. Matsuzaki, F.Takahashi-Yanaga, Y. Miwa, M. Hirata, Y. Watanabe, N..Sato. S.Morimoto,T.Hirofuj i, K.Maeda, T. Sasaguri	歯周病科
Journal of Periodontology2006年	Risk of Porphyromonas gingivalis recolonization during the early period of periodontal maintenance in initially severe periodontitis sites.	O. Fujise, M. Miura, T. HamachiK.. Maeda:	歯周病科
International Journal of Prosthodontics, 20, 2007	Subjective assessment of chewing function of obturator prosthesis wearers	Miwa Matsuyama	義歯補綴科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Oral Rehabilitation, 33, 2006	The effect of oral splint devices on sleep bruxism: a six-week observation with an ambulatory electromyographic recording device	Takehiro Harada	義歯補綴科
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology Oral Radiology and Endodontics, 101, 2006.	The contribution of platelet-derived growth factor, transforming growth factor-beta1 and insulin-like growth factor-I in platelet-rich plasma (PRP) to the proliferation of osteoblast-like cells	Yoichiro Ogino	義歯補綴科
International Journal of Prosthodontics, 19, 2006.	Clinical assessment of chewing function of obturator prostheses wearers by objective measurement of masticatory performance and maximum occlusal force	Miwa Matsuyama	義歯補綴科
顎顔面補綴 29(2):12月, 2006	舌部分切除症例に対するリハビリテーション—補綴治療と機能訓練を施行した1症例—	山口聡子	義歯補綴科
日本口腔インプラント学会誌 19(2): 6月, 2006	インプラント上部構造のリトリーバビリティに関する研究—仮着セメントの混和比が維持力と浮き上がり量に及ぼす影響—	池上龍朗	義歯補綴科
J.Oral Pathol.Med.35:1-8	Expression of tumor-associated antigen RCAS1 and its possible involvement in immune evasion in oral squamous cell carcinoma	Nakamura,S.	顎口腔外科
日口科誌55(3):153-161	舌癌切除後の口腔機能に関する臨床的検討	大部 一成	顎口腔外科
日口科誌52(10):26-30	術後にバルーンカテーテルを用いた食道入口部拡張訓練により経口摂取が可能となった口腔癌の1例	大部 一成	顎口腔外科
日口科誌52(7):393-400	唾液腺腫瘍151例の臨床統計的検討	川野真太郎	顎口腔外科
日顎顔面補綴誌29(2):27-33	舌部分切除症例に対するリハビリテーション—補綴治療と機能訓練を施行した1症例—	松崎幸代	顎口腔外科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Cell Physiol.	Expression of the urokinase receptor regulates focal adhesion assembly and cell migration in adenoid cystic carcinoma cells.	Abu-Ali S, Sugiura T, Shirasuna K	顔面口腔外科
日口科誌	Hypoxia-inducible factor-1 (HIF-1) デコイによる培養口腔癌細胞の血管内皮増殖因子抑制	今井美恵, 石橋浩晃, 川村隆三, 白砂兼光	顔面口腔外科
Oral Science International	An Adenoid Cystic Carcinoma Cell Line Possessing High Metastatic Activity has High NF- $\kappa$ B Activation in Response to TNF- $\alpha$	Seki K, Sugiura T, Shirasuna K	顔面口腔外科
Journal of Biological Chemistry	Regulation of urokinase receptor proteolytic function by the tetraspanin CD82.	Bass R, Werner F, Odintsova E, Sugiura T	顔面口腔外科
J of Oral Maxillofac Surg. 65;1402-1405,2007	A newly developed interventional sialendoscope for a completely non-surgical sialolithectomy using intracorporeal electrohydraulic lithotripsy	Nakayama E., Okamura K., Mitsuyasu T., Kawazu T., Nakamura N., Nakamura S., Yoshiura K.	口腔画像診断科
日本口腔インプラント誌19 (4):420-429 2006	インプラントオーバーデンチャーの維持力についての実験的研究	山根進, 大江健史, 樋口勝規, 他3名	口腔総合診療科
日歯教誌 23(1):70-76 2007	九州大学病院歯科医師臨床研修における協力型施設と研修歯科医のマッチング	松家洋子, 他7名	口腔総合診療科
Cell and Tissue research324: 117-125, 2006 Jan 12	Establishing and characterizing human periodontal ligament fibroblasts immortalized by SV40T-antigen and hTERT gene transfer	Fujii Shinsuke et al.	口腔総合診療科
日本歯内療法学会雑誌27 (3):126-131 2007	MTAおよびSuper-Bondのヒト歯根膜細胞の骨芽細胞様分化に及ぼす影響に関する研究	野田亮, 前田英史, 藤井慎介, 和田尚文 他3名	口腔総合診療科

計 329 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 水田祥代		
管理担当者氏名	各診療科長	診療録管理室長 水元一博	放射線部長 本田浩
	薬剤部長 大石了三	総務課長 河野雅史	医療管理課長 松田篤郎

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		外来分… 各診療科 入院分… 診療録管理室 各診療科	外来カルテは一診療科一カルテ方式で各診療科が保管。 入院カルテは平成17年4月1日退院分より診療録管理室にて一括保管。それ以前のカルテは各診療科が保管。 エックス線写真は、検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管。
----- エックス線写真		各診療科 放射線部	
----- 処方せん 病院日誌		薬剤部 総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療管理課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療管理課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療管理課 薬剤部	
体規則 第9条 第23条 及び 第11条 各号に 掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 西川 泉
閲覧担当者氏名	総務課長 河野 雅史
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.50 %	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,903 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,147 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,199 人	
	D: 初診の患者の数	34,095 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2 名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 1 7 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。</li> <li>(2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認を行なうとともに、必要な指導を行なうこと。</li> <li>(3) 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況について確認を行なうとともに、必要な指導を行なうこと。</li> <li>(4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行なうこと。</li> <li>(5) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。</li> <li>(6) 医療安全に係る職員の教育・研修に関すること。</li> <li>(7) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(8) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</li> <li>(9) その他医療安全対策の推進に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全管理は、病院長のもとで医療安全管理委員会を中心に関連部署と連携し病院全体で取り組むこと。</li> <li>(2) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に積極的に参加すること。</li> <li>(3) 医療安全管理対策・改善策等の情報は、職員にフィードバックし、職員全体で共有すること。</li> <li>(4) 医療事故等が発生した場合には、医療上の最善の措置をすみやかに講じ、患者さんやご家族・ご遺族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実に、かつすみやかに説明すること。</li> <li>(5) 「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知すること。</li> <li>(6) 医療安全管理に関する基本方針を院内掲示板等にて公開すること。</li> <li>(7) 患者さんからの相談のうち、特に医療安全に関わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応すること。</li> </ol> </li> </ul>	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故防止のための具体的措置に関する事。</p> <p>(2) 医療事故防止対策マニュアルに関する事。</p> <p>(3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。</p> <p>(4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関する事。</p> <p>(5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。</p> <p>(6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関する事。</p> <p>(7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関する事。</p> <p>(8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。</p> <p>(9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関する事。</p> <p>(10) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関する事。</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年32回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>別紙のとおり</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① 散剤薬包紙印字内容変更 (H17年度変更後の追加変更)</p> <p>② 製氷器へのカバー取り付け (氷散乱防止)</p> <p>③ 転倒防止のための3カウント運動</p> <p>④ 「車いすの安全な使い方」ポスター作成・配布</p>	

## 平成18年度 医療安全管理研修会

### ○ 全体を対象とした研修会

開催日	開催時間	参加者	研修会名	テーマ等	講師等
6/1	80分	104	医療安全管理ビデオ研修会	「患者参加の医療安全」-取り組みの次なる展開-	鮎澤純子医療経営・管理学助教授
6/2	80分	71	医療安全管理ビデオ研修会	同 上	同 上
6/28	60分	264	医療安全管理研修会	九大病院における安全管理について	秋好セーフティマネージャー
9/11	90分	380	医療安全管理研修会	「インフォームド・コンセント～あなたが患者から得た同意は、法的に有効なものになっていますか？」	前田正一東京大学医療安全管理学助教授
10/2	60分	126	医療安全管理研修会	モニタのアラームと安全管理	日本光電
10/19	70分	75	医療安全管理ビデオ研修会	「インフォームド・コンセント～あなたが患者から得た同意は、法的に有効なものになっていますか？」	前田正一東京大学医療安全管理学助教授
11/7	70分	25	医療安全管理ビデオ研修会	同 上	同 上
11/27	70分	226	医療安全管理研修会	「薬剤の基礎知識」	末安薬剤部副部長
11/29	70分	253	医療安全管理研修会	同 上	末安薬剤部副部長
12/11	90分	342	医療安全管理研修会	「医療事故発生後の対応」～コミュニケーション技法を中心に～	稲津佳世子医療システム学分野助手
1/24	90分	74	医療安全管理ビデオ研修会	同 上	同 上
1/25	90分	85	医療安全管理ビデオ研修会	同 上	同 上
1/26	90分	96	医療安全管理ビデオ研修会	同 上	同 上
2/8	60分	48	医療安全管理研修会	モニタのアラームと安全管理	日本光電
2/28	60分	113	医療安全管理研修会	九大病院における安全管理について	秋好セーフティマネージャー
3/1	60分	114	医療安全管理研修会	同 上	秋好セーフティマネージャー
3/19	90分	231	医療安全管理研修会	「米国医療現場のRM 本当の所どうなの？」	北川明人ベス・イスラエルメディカルセンター東京海上記念診療所事務長職
小計		2,627			

○ 職種別研修会

開催日	開催時間	参加者	研修会名	テーマ等	講師等
4/5	90分	78	看護職員採用者オリエンテーション1(新卒者)	看護事故防止対策	秋好セーフティマネージャー
4/5	120分	78	看護職員採用者オリエンテーション1(新卒者)	基礎看護技術演習	同 上
4/20	90分	44	看護職員採用者オリエンテーション1(既卒者)	看護事故防止対策	同 上
4/27	60分	78	看護職員採用者オリエンテーション2(新卒者)	医療事故防止対策の実際	同 上
5/18	60分	44	看護職員採用者オリエンテーション2(既卒者)	同 上	同 上
5/26	95分	77	看護職員採用者オリエンテーション3(新卒者)	移動技術演習	同 上
7/27	0.5日	40	看護職員院内研修	医療安全対策	同 上
11/9	0.5日	32	看護職員院内研修	同 上	同 上
11/30	0.5日	30	看護職員院内研修	同 上	同 上
12/14	60分	9	看護職員院内研修	安全な移送介助	同 上
1/18	0.5日	42	看護職員院内研修	医療安全対策	同 上
2/1	0.5日	76	看護職員院内研修	同 上	同 上
小計		628			
4/4	180分	84	新規採用研修医オリエンテーション	医療事故防止について、医療事故裁判の進み方	鮎澤純子医療経営・管理学助教授、末安薬剤部副部長、秋好セーフティマネージャー、池田医療法規係長
4/6	30分	66	歯科医師臨床研修オリエンテーション	医療安全管理体制、歯科医師賠償責任保険について	秋好セーフティマネージャー、池田医療法規係長
小計		150			
5/24	45分	20	医療技術部	医療安全管理対策	秋好セーフティマネージャー
小計		20			
合計		3,425			